

セルフメンテナンスBOOK

(EIDAI & DAIKEN & YKK AP)

(建具)

(床)

(サッシ)



吉岡工務店株式会社

住宅事業 工事 ☎ 03-5350-5280

これからお住いになる家は、木造です。

木の寿命は長く、何百年ものあいだ強度が衰えません。

木材は高温多湿の日本の風土に合っており、外の温度変化を内部にゆるやかに伝え、湿度を適度に調整してくれます。

地震に対しては、時にコンクリートより強くしなやかで、火に対しては、鉄よりも長時間の強度を保つことが可能です。

木は優れた素材ですが、コンクリート造と違い、性質・構造上 動きます。

空気中の湿度が高いと湿気を吸収して伸び、乾燥してくると湿気をはき出して縮むので、それに伴いクロスの亀裂や外壁のクラック（ひび割れ）が発生することもあります。

床暖房を使用されますと、暖房による乾燥で、木材が縮むこともあるので、フローリングにすき間が生じる場合もあります。

また、道路を走行している車の振動で揺れを感じることもあります。

多くのお客様は驚き、大きな不安を感じる方もいらっしゃるでしょう。

しかしそれらは、木の特性によるものが多いのです。

木造住宅では、木材の特性が原因である「クロスはがれ・亀裂」や「外壁のクラック」が、お悩み全体の4割を占めます。

この冊子では、お客さまご自身でできる簡単なメンテナンス方法を紹介します。

起こりうる不具合の種類や性質を知っておけば、必要以上に不安におちいることもなく、安心して過ごすことができるのではないのでしょうか。

木の特徴を知り、正しいお手入れをして、長く快適にお住まいになってください。

◆ 知っておきたい家のこと	3～8
◆ クロスについて	10～14
◆ 網戸について	
・ 網の張替え方法	15～19
・ 補修方法, お手入れ	20, 21
◆ E I D A I ◆ 建具(ドア)	
・ 開き戸 各部名称	23, 24
・ 開き戸 調整方法	25～29
・ 開き戸 ピボット蝶番ドアの外し方	30
・ 開き戸 ピボット蝶番の調整	31
・ 引き戸 各部名称	32, 33
・ 引き戸 調整方法	34～36
・ 吊り戸 調整方法	37～39
・ クローゼット扉 各部名称	40
・ クローゼット扉 調整方法	41
・ 木材の性質	42
◆ D A I K E N (大建) ◆ フローリング	
・ 使用上の注意, お手入れ	43～47
◆ Y K K A P ◆ 鋼製建具(サッシ)	
・ 引違い窓の『困った』	49～53
・ 注意していただきたいこと	54
◆ ベランダについて	55, 56
◆ 照明器具	
・ 各種カバーの取外し, 取付け	57, 58
・ 注意	59～62
◆ 玄関ドアの鍵	63, 64
◆ 困ったときの24時間対応業者	65
◆ 吉岡工務店 連絡先	66

◆ モルタル壁について

モルタル壁は一般に、まず下地材（防水材としてのフェルト）、ラス網を施工した上にモルタルを下塗り、上塗りと2回程度塗り、その上から仕上げ材のタイルを張ったり、塗装を吹付けしています。

性質上乾燥収縮によるひびが入りやすく、完全に防止することは困難です。

しかし下層に耐水合板や防水シート等の防水層があるので、ヘアクラック（毛髪の太さくらいの微細なひび割れ）程度であれば心配はいりません。これは表面的なひび割れであり、構造体には影響を与えないものだからです。

窓やドアなどの開口部のコーナーに発生するものは乾燥・伸縮によるひび割れです。

モルタルの下地パネルやモルタル自身が温度差による伸縮に耐えられずに発生するもので、これも建物強度には影響しません。

北側の壁面にカビやコケなどが生える場合は要注意です。

これらの発生場所は、水分が多くじめじめしているので、冬の朝などに水分が凍結し、体積が膨張してひび割れにつながる場合があります。

また、塗装がはげると、モルタルの壁面がひび割れしやすくなります。部分的にモルタルの色が見える箇所が目につく場合は、塗装や仕上げ材の劣化、その下地であるモルタルやパネルの劣化の2通りが考えられます。

外壁の大きな変化を見つけたらご連絡ください。

※ 注意すること

- ・ モルタル損傷の原因となりますので、外壁にボールをぶつけて遊んだりすることは避けてください
- ・ 補修に関しては、3～5年でひび割れの部分的な補修を、7～10年程度を目安に全体的な塗装をしてください
- ・ 定期的なメンテナンス、塗装が、建物を長持ちさせる秘訣です

◆ サイディング壁について

サイディング壁とは、工場で生産された壁を張り付けるタイプの壁をいいます。

一般的に使用されているのは「窯業（ようぎょう）系サイディング ボード」

窯業系サイディングボードは、施工時より5～7年で表面の防水が劣化し始めます。

一般的には7～8年で再塗装が必要といわれています。目安として10年または、雨のときに壁の色が変わるようであれば要注意です。

メリットは、工場で生産されているため品質が安定しているところ、耐火性と耐久性に優れているところ、バリエーションが豊富なところです。

また、破損した部分のみ抜き取り、交換することができます。

既存の外壁の上にも張り付けることができるため、外壁リフォームには特に最適です。

デメリットは、熱を吸収しやすく、塗膜がなくなると水を吸収してしまうところです。

サイディングボードの原料はほとんどがセメントで、塗膜が劣化すると吸水性が増してしまうので、防水メンテナンスを施すことにより吸水率を一定以下に保ち、雨水等の浸み込みを予防する必要があります。

サイディングボードの繋ぎ目にはシーリング材が充填されていますが、シーリングも経年劣化により痩せやひび割れが発生します。

すき間が出来るとそこから雨水が侵入し、ボードや建物のカビやコケ、腐食の原因になりますので、気がつきましたらご連絡ください。

※ 注意すること

- ・ 塗膜（塗料が乾いて固まった状態）のはがれや膨れ、ひび割れが目立つようになった
- ・ 日当たりの良い場所のサイディングに触れると白い粉が手に付く
- ・ 水をかけると、しっとりと濡れて弾かない
- ・ コーキングは太陽光や外気、雨水、温度変化により劣化しますので、2～3年ごとに点検しましょう

◆ 雨戸・網戸・アルミサッシについて

敷居に砂やゴミがたまると開閉に支障をきたします。時々掃除をしましょう。

汚れがひどい時は、住宅用洗剤を薄めた液で拭いたあと、水ぶきをします。また、戸車を掃除し油をさすか、市販の潤滑油を吹き付けておくと、開閉をスムーズに行えます。

※ 注意すること

窓枠と外壁が接する部分には、シーリング材(やわらかいゴムのような材料)が充填されています

これは防水上重要なものですので、傷つけないようにしてください

◆ 玄関について

開閉不良、すき間、腐食、付属金物の異常が生じることがあります。

ドアが重い、ギイギイ音がするなどの場合は、ドアを開けて、丁番を支える芯棒部分に、少量の機械油をさすと軽くなります。

ドアの閉まる速度を変えたい場合は、ドアクローザーに直接説明が書かれているので、そちらをご覧ください。

難しい場合は、ご連絡ください。

◆ クロスについて

木造の性質上、クロスは木と一緒に引っ張られて動きます。

この時、クロスがはがれたり割れたりすることが多々あります。はがれたときには、下地の汚れを取り除き、接着剤で貼りつけます。

また、水周りではカビが発生しやすいので、こぼしたままにせず、こまめに拭きましょう。

◆ ドア（内部建具）について

常に開閉をくり返す木製の建具は、時間の経過とともに、枠との間にすき間が生じてきます。ゆがみやすき間がないか、建て付け調整は、随時行いましょう。



●「反り」防止ポイント

1. 冷暖房機器の冷風や温風を直接当てないこと。
2. 直接日光が当たる場所は、窓にカーテンやブラインドを設け、直射日光をさえぎること。
3. 製品周辺（例えば室内ドアの室内側と室外側）において、温度や湿度等の環境条件の差を、極端に大きくしないこと。
4. 発生した「反り」は経時により小さくなる場合がありますので、開閉に支障がない限り、しばらく様子を見ましょう。

◆ フローリングについて

木材の性質上、季節により乾燥収縮が起こり、反り・割れ・収縮が起こることがあります。床組の木材の乾燥収縮によるわずかな変形により、床鳴りが発生することもあります。多少のことであれば心配はいりません。

木には空気中の湿度が高いと湿気を吸収して伸び、乾燥してくると湿気をはき出して縮む性質があります。

そのため、反りや突き上げ（継ぎ目部分の盛り上がり）、目スキ（継ぎ目部分にすき間）が発生することが、ままあります。

床暖房使用時にはフローリングが乾燥して縮むため、継ぎ目部分ですき間があいてくることもございます。これは木材の特性上ある程度は止むを得ない現象です。

床暖房を使用しなくなると、徐々にフローリングが伸びて、すき間が小さくなります。

◆ キッチンについて

キッチンのトラブルには換気不良、サビ(ステンレストップの場合)、シーリングの劣化、排水口のつまり等があります。

サビは、市販のサビ取り剤をつけてこすれば簡単に落ちます。(細かいキズがつくこともありますので、ご注意ください)

キッチンと壁の接合部は、水が入り込まないようにシーリングで埋められていますが、年数が経過すると、摩耗や劣化による、はがれや割れを生じます。

放っておくと炊事をするたびに水が入り込み、見えない部分の壁などにカビが生えることもありますので劣化したものはできるだけ早めに取り除き、シーリング材を使用して補修しましょう。

排水管のつまり

排水管がつまってしまった場合には、シンクに水を張り、ラバーカップを使えば取り除けます。つまっているものが見えるときは、割りばしなどで取り除きます。

排水トラップのトラブル防止

排水トラップは生ゴミなどが排水管に入らず、悪臭が上がってこないような仕組みになっていますが油脂類、野菜くずなどはつまりの原因になるので、流さないように注意してください。パイプ用洗剤で定期的に排水管を掃除すると、油脂分を落とすのに効果があります。

流し台下部のキャビネットの臭気

流し台の下部等のキャビネットは、湿気や臭気がこもりやすいので、掃除の際は開放しましょう。

◆ 浴室について

カビ、シーリングの劣化、排水溝のつまり、ユニットバスのジョイント部の割れ・すき間などが主な不具合です。

排水溝が流れにくくなったりつまった場合にはパイプ洗浄剤を使います。

こまめに洗浄剤を使用することで、臭いの予防にもなります。

ユニットバスのジョイント部の割れやすき間は、下地材に水が入り込んで、木部の腐朽を早めますので、下地に影響するような重度の割れなどは、早めにご連絡ください。

なお、シーリングのカビは劣化の原因になるのでしっかり換気をしましょう。

◆ 水栓器具について

パッキンの摩耗、プラスチック部の腐食、水漏れなどのトラブルがあります。

「シングルレバー混合水栓」や、「サーモスタット付き混合水栓」は構造が複雑なので内部に触れず、補修はおまかせください。

水栓器具の修理をする前には、必ず器具についている止水栓か水道の元栓を閉めましょう。器具に止水栓が付いていない場合や位置がわからない時は、家屋全体の水道の元栓で水を止めます。

右（時計回り）に回すと閉まり、反対に左に回すと開きます。

通常は水道メーター近くについていますが、場所は建物によって異なります。

クロスについて

クロスの特性

木造の性質上、下地（木）が動きます。

一般的には【完成から1年ぐらいは、特に大きく動く可能性がある】と言われています。下地の動きにともない、クロスも動きます。

ビニールクロスの場合、乾燥後はほとんど収縮しませんので、半年くらい経つとクラック（ヒビ）や、継ぎ目によるすき間、ヨレ等が出てきます。

クロスをきれいに保つ心掛け

日頃の少しの心掛けで、壁紙は末長く美しい状態に保つことができます。

次のような点に注意しておきましょう。

1. できるだけ直射日光にあてない

壁紙は紫外線を嫌います。

強い日差しが気になる部屋には、UVカット加工のカーテンをかけてください。

2. 熱風、高温を避ける

暖房器具の熱風が直接壁紙にあたらないようにしましょう。

熱により壁紙が変形、変色することがあります。

3. 粘着テープを張らない

壁紙にはセロハンテープやガムテープを張らないでください。

壁紙の変色や汚れの原因となります。

4. 殺虫剤や塗料、薬などをつけない

殺虫剤や塗料などを吹き付けたり、医薬品や口紅などを付着させないでください。

5. 換気をよくする

タバコの煙や台所からの油煙は、壁紙を短期間で黄色く変色させます。

6. できるだけキズをつけない

家具の角を壁紙に当てないように気をつけましょう。

7. 家具と壁面のすき間をあける

家具と壁が密着していると、家具塗料に含まれる色素で変色する場合があります。

壁との間にすき間をあけておくと、変色やカビ、結露の防止にもなります。

クロス補修の道具



継ぎ目がはがれたり、ビリッと破れたり、穴が気になったり…

そんなとき、自分で直せるなら直してみたいですね。クロスはわりと簡単に、しかもきれいに直るのです。

道具：濡れ雑巾（またはスポンジ）

ジョイントコーク

ローラー（なくても OK）

ボンド

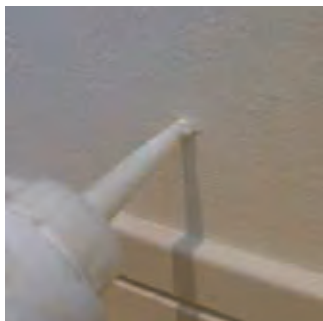
その① 破れてしまった場合



写真は破れたクロスです。

はがれている部分がかたくなってるようでしたら、はがれている部分の裏側に水などを塗り、少し時間を置いてやわらかくします。

出す量はこのくらい



ジョイントコークをつける。

木工用ボンド、またはホームセンターなどにあるクロス補修材でもかまいません。

ジョイントコークなどをクロスの裏側に塗りつけます。



ボンドをつけたところ です。



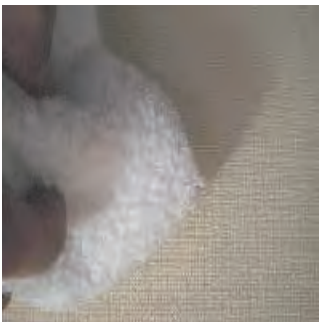
補修材をおさえる。

職人はローラーでおさえますが、一般のお客様はお持ちでないと思いますので、かたく絞ったスポンジやタオルなどで押さえてください。

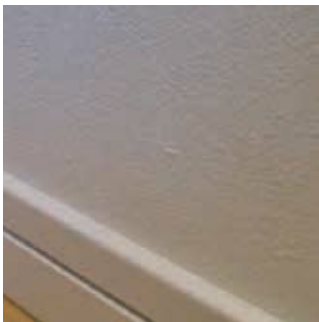


拭き取る。

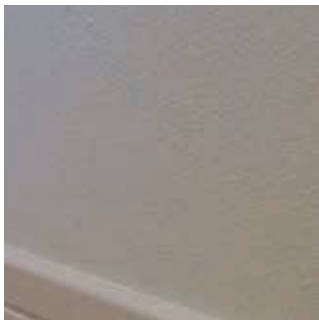
補修材をおさえたら、はみだしたボンドをきれいに拭き取ってください。



一度押さえ、拭き取ったところ。



もう一度、きれいにふき取ります。



どこが破れていたかわからないくらい、きれいに直ったでしょう？

破れた箇所は

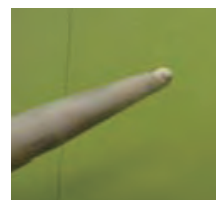
1. 破れが広がる前に直す
 2. 破れた箇所のクロスが硬化する前に直す
- とにかく早めの処置が大事です。

その② 継ぎ目で割れてしまった場合



揺れや乾燥により、しばしば起こります。
この場合は、割れている部分にジョイントコークを埋め込み、クロスとクロスをつなぎます。

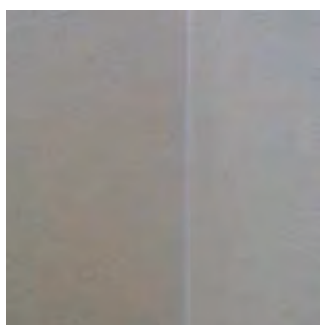
出す量はこのくらい



割れ目にそって塗る。



濡れた雑巾で拭く。
きれいに拭き取れたら、から拭きをします。



これで出来上がりです。

※ キッチンのシーリングなども、同様に直すことができます。

その③ クロスの穴が気になる場合



穴と穴の周囲をきれいにする。

穴や周囲の汚れを落とします。

次に周囲の盛り上がっている部分を、爪かへらで穴の中心に向かって押し付けるようにして、平らな状態に戻します。



補修剤を埋め込む。

壁紙の小さな穴専用の補修材があります。そのノズルを穴に当て、補修材を埋めます。

補修材は、壁紙にあった色を選ぶことができます。



仕上げ作業をする。

平らな壁紙の場合は、付属のハケで取り除き、平らに仕上げます。補修材がはみ出したら、固くしぼった布で、すぐに拭き取ってください。

凹凸がある壁紙の場合は、補修材のノズルの先で似たような凹凸をつけます。

クロスの汚れ落とし

クロスの汚れを落とすには？

(主に多い箇所は 玄関まわりの手垢・キッチン部油)



強くこすりすぎると壁紙が破けたり、痛める原因になりますので、力を入れず優しくこすること。

強い洗剤を使用すると、しみ・汚れの原因になります。必ず市販の中性洗剤をご使用ください。

下記工程は、壁紙の材質がビニールのみ適用します。

道具： スポンジ

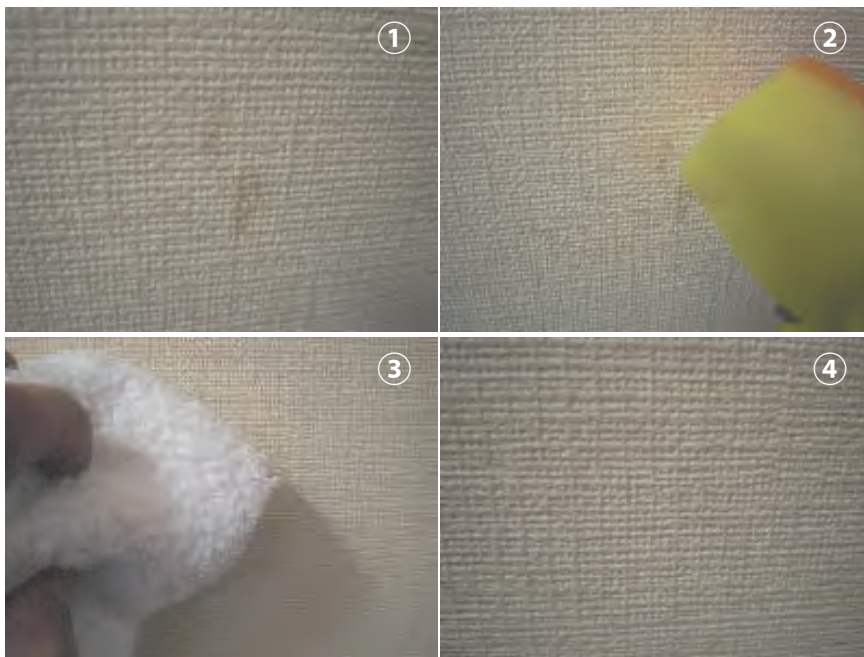
中性洗剤

タオルまたは雑巾（乾拭き用）



中性洗剤を希釈し、スポンジに染み込ませてかたく絞ります。

※ 希釈の目安 → 500ml の水に対し、 2 ～ 3 滴の洗剤



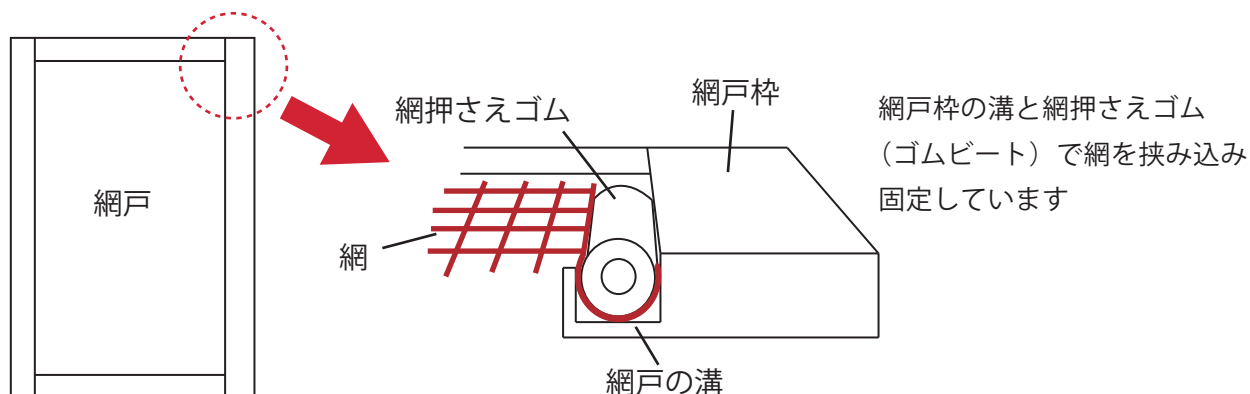
なでる程度に軽くこすります。

最後に乾拭きをして、ここで落ちれば OK。

落ちなければ、何度か繰り返します。

網の張替え

網戸の構造



網の張替えに必要な道具



網

網押さえゴム（ゴムビート）

網押しローラー

カッターナイフ（網専用カッター）

プラスドライバー

はさみ

ものさし

歯ブラシ

雑巾（不要なタオル）

軍手

古新聞

あると便利なもの

クリップ

千枚通し（マイナスドライバー）

汚れてよい古い毛布

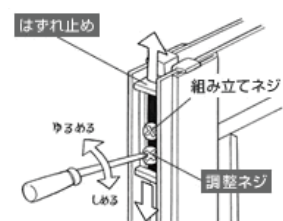
1. 張替え場所の準備



網戸がのせられる大きさのテーブルがあると作業がしやすいです。
テーブルや床・畳にキズがつかないように、古い毛布を敷いて、
その上に新聞紙を敷いてください。
毛布がなければ、新聞紙を厚めに敷いてください。

2. 網戸を外す（メーカー・網戸のタイプにより異なります）

* LIXIL（引違い窓用）



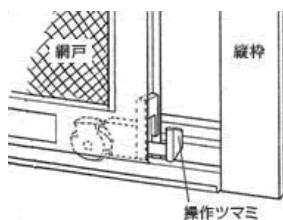
1. 「はずれ止め」の調整ネジを左（反時計回り）に回し、ゆるめる
2. はずれ止めを下げる
3. 操作ツマミをドライバーなどで引き出す
4. 網戸を持ち上げ、外す

★ 網戸をはめる場合は、この逆の手順で行ってください。

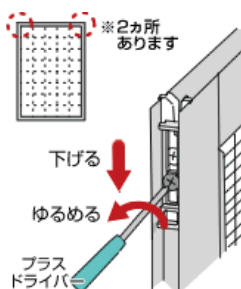
安全のため「はずれ止め」と、戸車の「操作ツマミ」が元通りになっていることをご確認ください。

★ 下の戸車部分に操作ツマミがある場合は、ドライバー等で引き出して

ください。
はずれ止め、戸車の操作ツマミは、1枚の網戸に2箇所（左右）あります。網戸を持ち上げ、外します。



* YKK AP（引違い窓用）



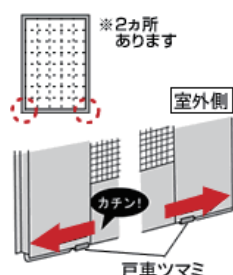
1. 上部左右のはずれ止めのネジを一回転ほどゆるめ、部品を下げる
2. 下部左右の戸車ツマミを矢印方向に「カチン」と音が鳴るまで動かす
3. 持ち上げ、室外側へ押し下げ、外す

★ 網戸をはめる場合は、この逆の手順で行ってください。

安全のため「戸車ボタン」が元通りになっていることをご確認ください。

★ 落下防止のため、表示ラベルに従い、はずれ止め部品を必ずかけて

ください。
ネジの締付けがゆるいと、網戸が外れるおそれがあります。

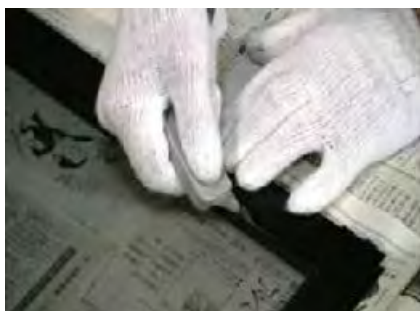


3. 網戸を置きます



網押さえゴムが見える方を上にして置きます。

4. 網を外します



網押さえゴム（ゴムビート）のつなぎ目を探してローラーのヘラ部分で端部分を引き出します。

※ 千枚通しがあると、引き出しが楽にできます。

網押さえゴムを全て外したら、網を外します。

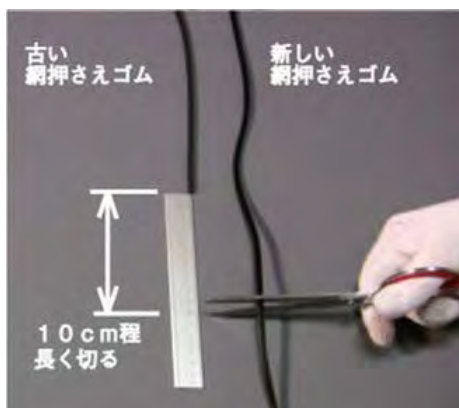


網を外したら、歯ブラシで溝の中、戸車部分及び、はずれ止め部分の汚れを掃除します。汚れによっては、雑巾や不要になったタオルで拭き取ります。

※ 網戸のその他の部品（戸車やはずれ止め）は傷んでいませんか？

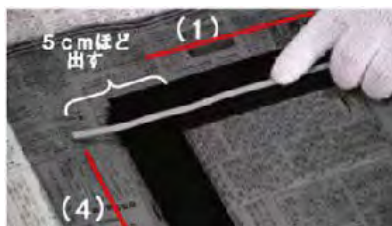
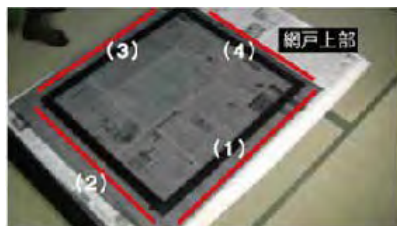
この機会にまとめてメンテナンスをお勧めします。

5. 新しい網押さえゴムを準備します



網押さえゴムは取り外した古いゴムより、少し長め（約10センチ）に切ります。

6. 張り替えを始めましょう



長辺 → 短辺 → 長辺 → 短辺 の順に、網戸の上から張り始めます。

網を広げ、網戸枠の溝から3センチ以上はみ出るようにセットします。

スタート部は網押さえゴムを5センチほど出し、網と網戸枠が平行になるように押さえながら、ローラーで網戸の溝にゴムを押し込んでいきます。

※ たわみを作らずに綺麗に網戸を張るポイント

網戸の端を軽く引きながら、網押さえゴムをローラーで押し込んでいくと、たわみができずにきれいに張れます



コーナー部分はゴムを少したるませ、少しずつ押し込んでいきます。一気に押し込むと、網を傷つけてしまったり、網目が変形してしまいます。

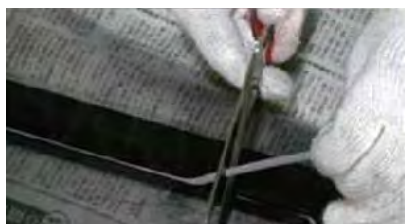


最初に固定した二辺の網の目からずれないように、押さえながらゴムを押し込みます。

網をピンと張りすぎると、網押さえゴムの挿入が浅くなり、固定力が得られません。

多少のゆるみがあった方が、きちんと張れます。

7. 最後の仕上げ



最初に余分に出した網押さえゴムを短辺方向にまげ、ローラーで押し込みます。

反対側のゴムもスタート部まで押し込んだら、余分な部分をハサミで切ります。



できあがりを確認します。
ゴムの浮きがないかを確認したら、ローラーで押し込みます。

網が浮いていたり、波うちが大きい場合は、その部分の網押さえゴムを引き出して、張り直します。

部分的な張り直しは、網に癖がつき易くなるので、3回を限度にしてください。

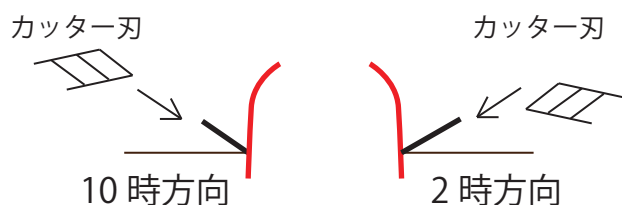
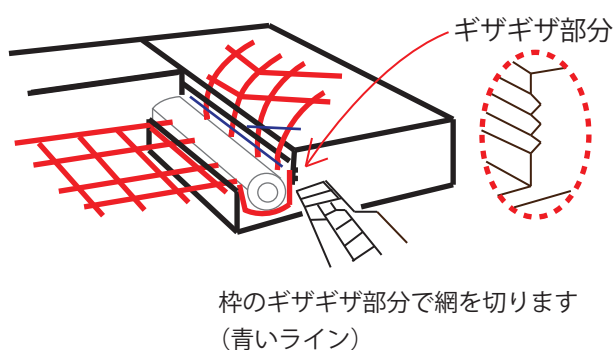
たるみが大きかったり広範囲にわたる場合は、最初から張り直してください。

ゆがみやたわみは慣れないうちは少しは出てくるものです。

多少のたわみ程度であれば網戸の機能は果たしてくれるので、やり直す必要はないでしょう。

たわみが大きいときは、網押さえゴムを少しだけ外して引っ張りながら調整を行ってください。

全部外してしまうと、既に網戸をカットした後である場合は、貼り直しのサイズの不足が起きたり、網の目の幅が極端に広がってしまったりすることもあるので、① やさしく引っ張る、② 少しずつ直すの2点が調整の鉄則です。



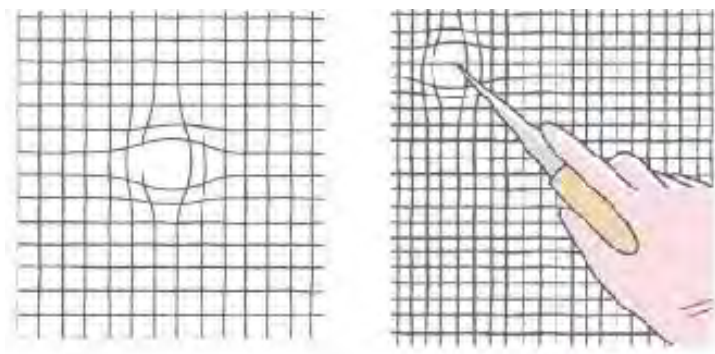
余分な網を切ります。

必ず軍手をはめて行って下さい。カッターの刃の向きに反対の手を置かないようにして下さい。

コーナー部1箇所にはさみで切れ込みを入れます。

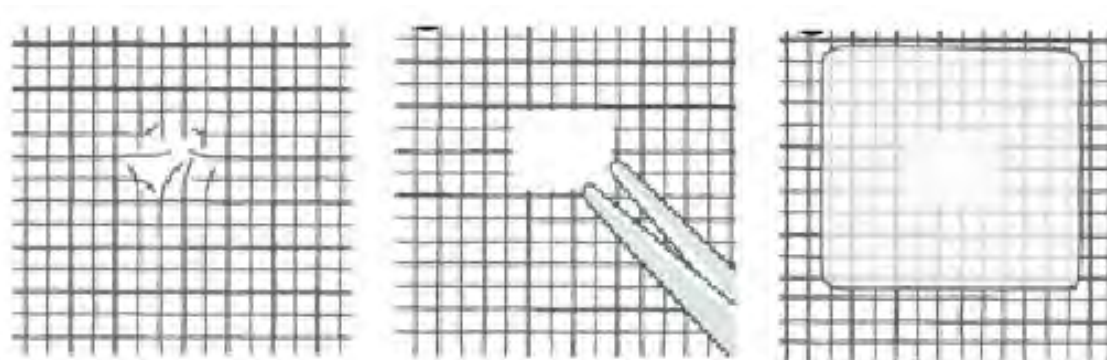
ほつれた網は、はさみで切り取ります。

その① 網目が広がってしまった場合



網目が破れておらず、広がってしまっただけの場合は、広がった網目に千枚通しなどを引っ掛けてまっすぐな状態に戻します。

その② 小さな穴が開いてしまった場合



網戸に 5 ～ 7mm 程度の穴が開いてしまった時は、網戸用補修シートを使います。

破れている部分を、よく切れるハサミできれいに切りそろえましょう。

穴の形が整ったら、網戸用補修シートを穴の大きさより 2 回りほど大きなサイズにカット。

穴をふさぐようにして、両面からはり付けます。

穴が開いていることに気がついたら、できるだけ速やかにメンテナンスを行ってください。

大きく広がってしまうとメンテナンスがしにくくなるので、ご注意ください。

網戸のお掃除

その① 日常のお掃除

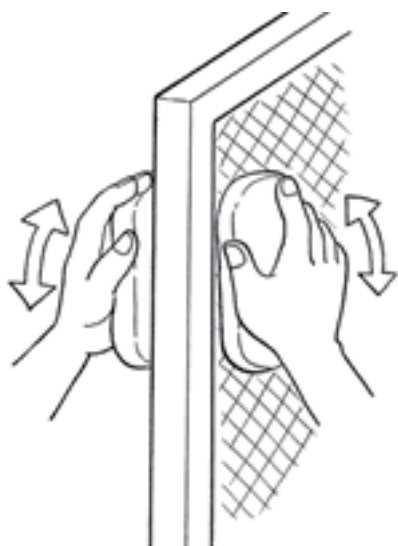


ブラシでホコリを浮かせ、掃除機で吸い取りましょう。

新聞紙をセロハンテープではり付けたり、板状に切った段ボールを当てながら掃除機をかけると、効率よく吸い取ることができます。

また網戸のすみに残った汚れも、掃除機のホースの先端にノズルをつけて吸い取ります。

その② 汚れがひどい場合



乾いたスポンジを2つ用意し、両面から網戸を挟み込むようにこすると、きれいになります。

頑固な汚れは、網戸を外して壁などに立てかけ、中性洗剤をまんべんなく吹きかけます。

汚れが浮き出てきたら、ホースで勢いよく洗い流し、陰干ししましょう。

※ お手入れの際に力を入れすぎると、網がたるんだり破けてしまいますので、強い力で拭いたり、こすったりしないでください。

網戸を外して水洗いするときは、濡れてもいい窓やシャッターなどに立てかけ、お掃除をしてください。

再び窓枠に取り付ける際は、表示ラベルに従って取付けてください。

開きドア



片開きドア



トイレドア

引き戸



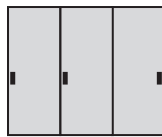
片引き戸



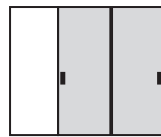
トイレ用片引き戸



引き違い戸



3本引き戸



2本引き込み戸



3本引き込み戸

吊り戸



片引き（込み）吊り戸



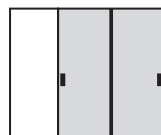
引き違い吊り戸



アウトセット吊り戸
リビング階段ドア



3本吊り戸



2本引き込み吊り戸



3本引き込み吊り戸

片開きドア



親子ドア



建具調整動画

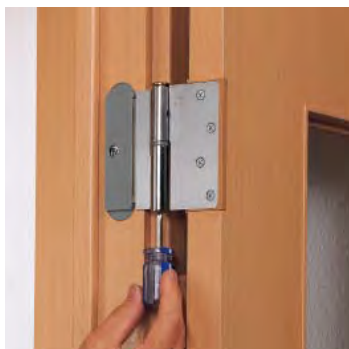


手回しドライバー



電動式ドライバー

- ◆ 簡単な調整方法を掲載しております。
落下・破損・ケガには十分にお気を付けください。
- ◆ 調整には手回しドライバーをお使いください。



3次元調整蝶番

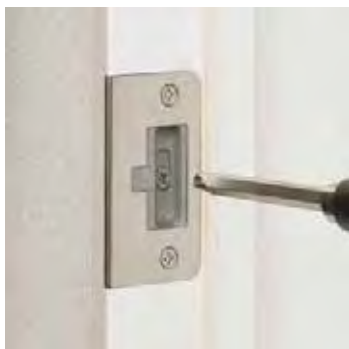


ピボット蝶番

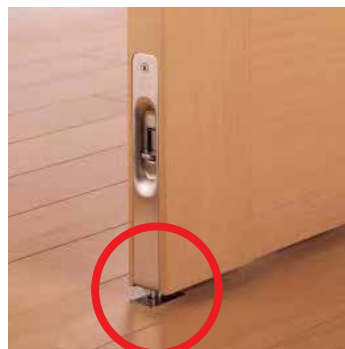


ラッチ

レバーハンドル



調整ストライク



フランス落し（子ドア側）



マグネットドアストッパー

ドアに取付けるタイプの
マグネットストッパーです。
壁や家具などにドアが当たる
のを防ぎます。

Q1

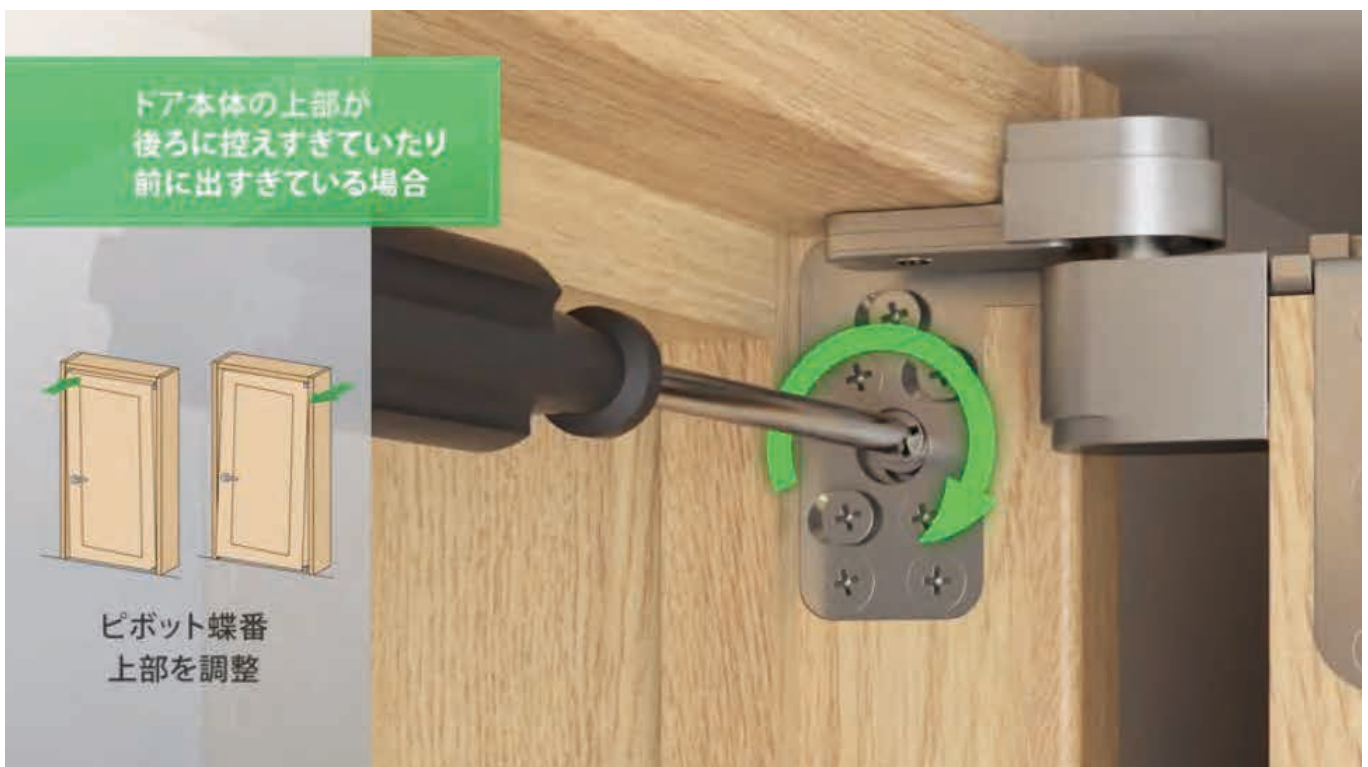
ドア本体が、枠や床にあたる
ドア本体と枠のすき間が一定でない

A. 蝶番の調整（上下，前後，左右）を行ってください

ドア本体 下部の調整



ドア本体 上部の調整



ドア本体 吊元上部の調整



Q2

ラッチがガタガタする
ラッチが掛からない

A. ストライクの調整を行ってください



ラッチがストライクの中でガタつく場合は右に回す。
ラッチがかからない場合は左に回す。

Q3

表示錠・間仕切錠の鍵を外から解錠したい

A. 簡易錠が付いたタイプは、室外側から
ドライバーなどで解錠することができます



Q4

ドアノブがガタつく

- A. ドアノブの付け根に、ノブを止めているネジがございます
このネジをプラスドライバーで閉めれば直ります



Q5

ドアキャッチャーが緩い、かたい

- A. ドアキャッチャーの調整を行ってください

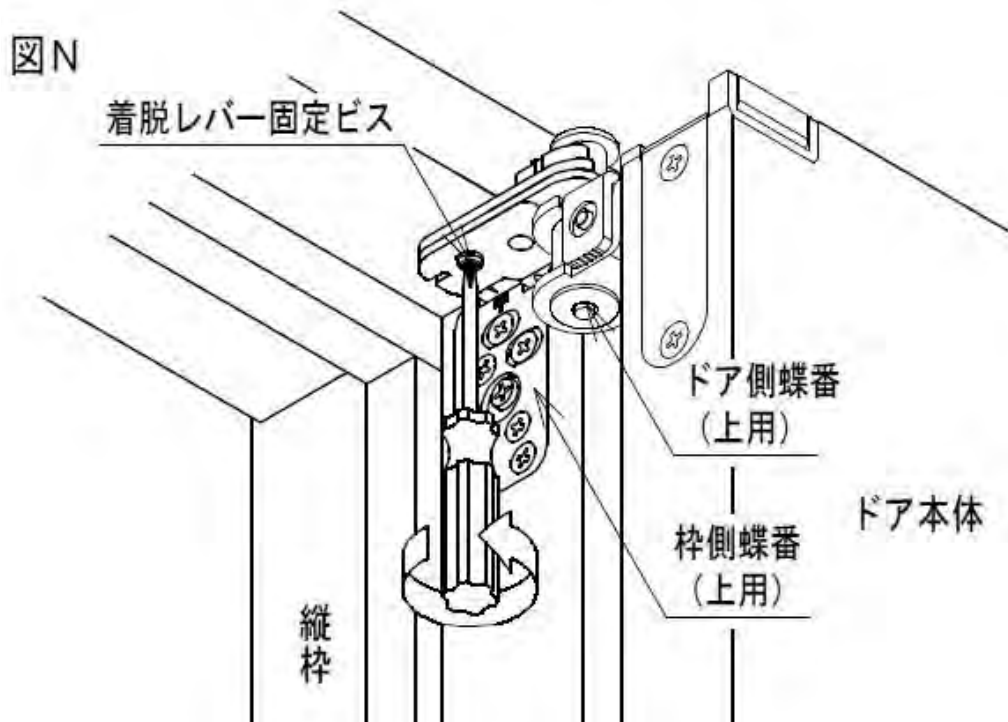


ドア側についている部品です

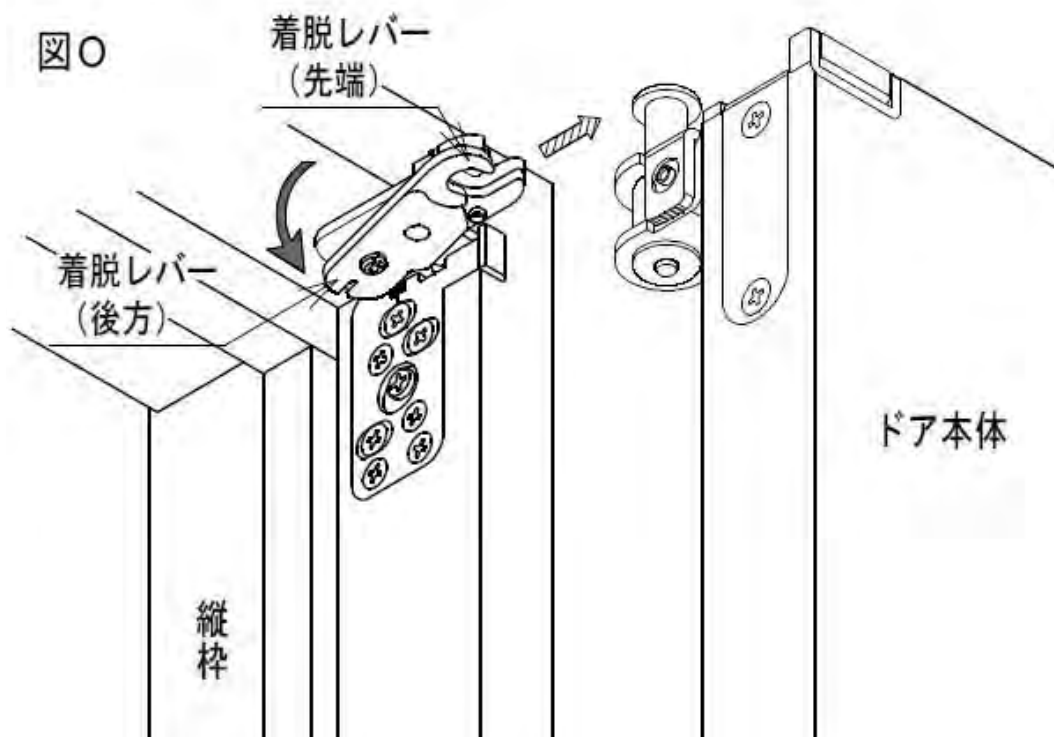


2つのネジをゆるめ、この部品を上下で調整してください
上に取り付けければゆるく、下に取り付けければ固くなります

1. 蝶番に取付けたカバーをすべて外してください
2. 枠側蝶番（上用）の着脱レバー固定ビスを緩めてください（図N）



3. 着脱レバー（後方）矢印先端部を縦枠側に推して着脱レバー（先端）を開き、ドア本体を取り外してください（図O）



ピボット蝶番 前後調整

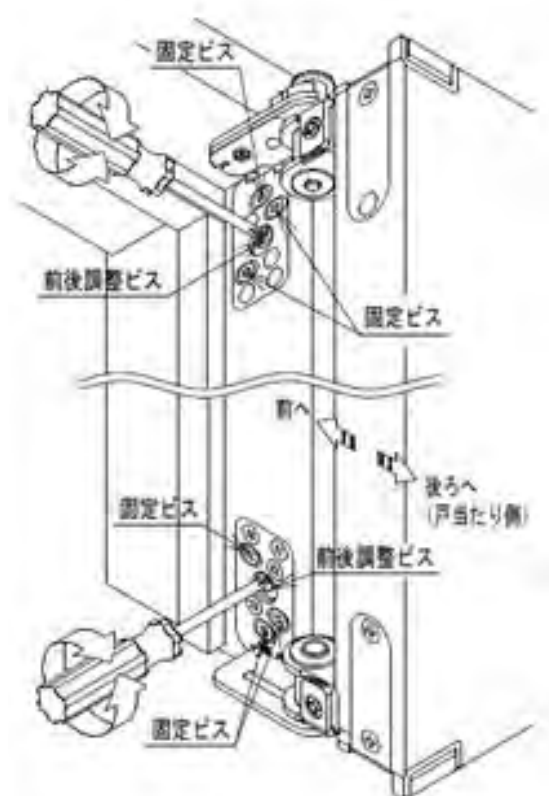
- * 調整をするときは、枠側蝶番の固定ビスを緩めてください
- * 枠側蝶番の前後調整ビスを回して、ドア本体を前後に移動できます
 - ※左右どちらに回しても動きます

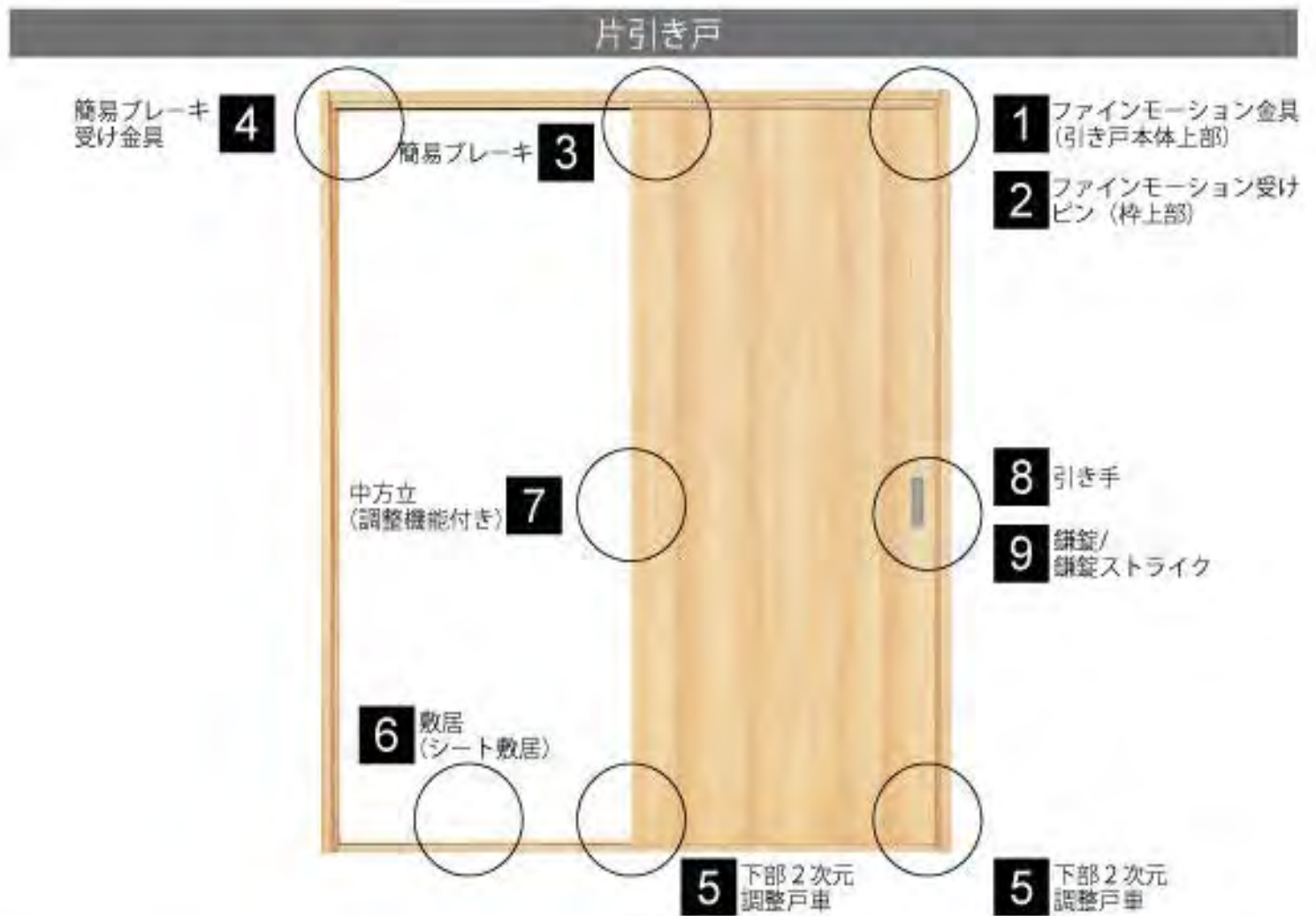
出荷時 基準位置からの調整範囲

戸当たり側へ 2mm

外側へ 2mm

- * 調整後は固定ビスをしっかり締めてください
 - * デザインによっては蝶番が動きにくい場合もございます
- 動きにくい場合は、ドア本体を調整する側に押しながら動かしてください





1



ファインモーション金具
(引き戸本体上部)

2



ファインモーション
受けピン (枠上部)

3



簡易ブレーキ
(引き戸本体上部)

4



簡易ブレーキ受け金具
(枠上部)

5



下部2次元調整戸車

6



敷居 (画像はシート敷居)

7



中方立 (調整機能付き)

8



引き手

9



鎌錠 (画像は表示錠)
/ 鎌錠ストライク

10



閉止め金具
(引き分け戸・4枚2本引き戸・
2本引き込み戸・3本引き込み戸)

Q1

引き戸本体が動きにくい

- A. レールや戸車にゴミなどが詰まっている可能性がございますので掃除をしてください

①レールの清掃



②戸車の清掃

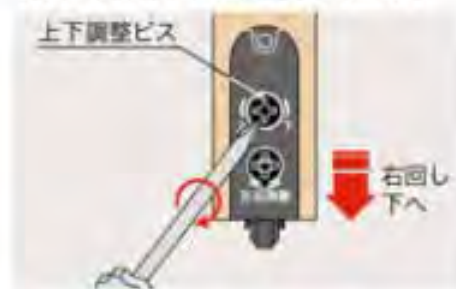
引き戸本体を外し、戸車の清掃を行ってください。

■引き戸本体の外し方



- ①引き戸本体の両端を持ち、上に持ち上げてください。
- ②下側を手前に引き、下部2次元調整戸車を外してください。
- ③斜めの状態のまま左右調整上戸車を外します。

※引き戸本体が外れにくい場合は、一度元に戻し下部2次元調整戸車の調整で引き戸本体を下側に調整してください。



お願い

※引き戸本体の取り外しを行う際、引き戸本体が倒れる恐れがあります。周りを確認した上で必ず2人以上で行ってください。

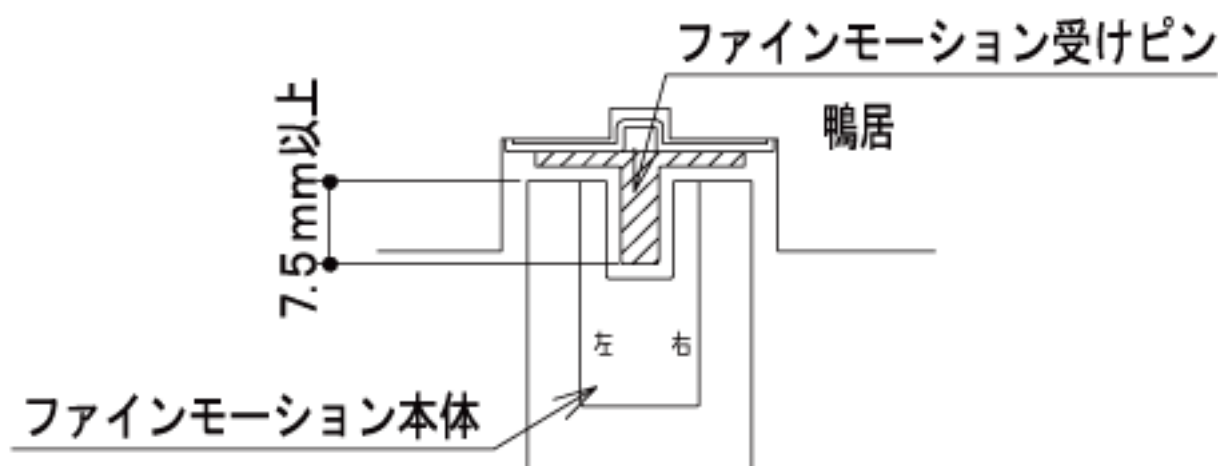


雑巾などでゴミを拭き取ってください。

戸車がスムーズに動くか、ご確認をお願いいたします。
戸車の交換が必要な場合は、
永大産業 Web Shop (室内ドアパーツ→
引き戸・吊り戸パーツ) にて
お買い求めください。

- A. ファインモーション機能が動かなくなった場合は、一度引き戸本体を完全に閉めてください。自動復帰機能で元に戻る場合がございます

ファインモーション本体に対して、ファインモーション受けピンが 7.5mm 以上掛かっているか、確認してください。掛かりが浅い場合は、上下調整を行ってください



■ファインモーション金具

左右調整ビスを回し、引き戸本体を左右に調整します。



調整範囲(出荷基準位置より)

右回し：左に2mm

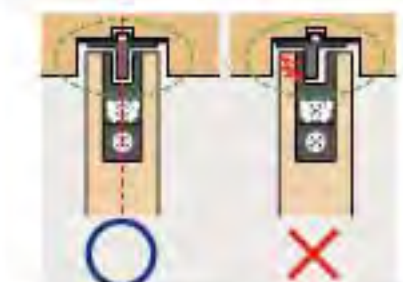
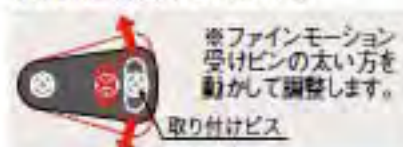
左回し：右に2mm

■ファインモーション受けピン

①取り付けビスを緩めてください。



②ファインモーション受けピンがファインモーション金具の中央になるように位置を決めてください。



③取り付けビスを締めてください。

- A. ① 簡易ブレーキ受け金具の取付け位置を調整してください
 ② 簡易ブレーキ受け金具のブレーキ調整を行ってください

① 簡易ブレーキ金具の
左右調整

■簡易ブレーキ金具

左右調整ビスを回し、引き戸本体を
左右に調整します。



調整範囲(出荷基準位置より)

右回し：左に2mm

左回し：右に2mm

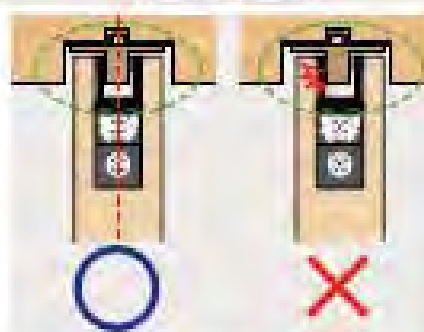
② 簡易ブレーキ受け金具の
ブレーキ調整

■簡易ブレーキ受け金具

①取り付けビスを緩めてください。



②簡易ブレーキ受け金具が簡易ブレーキ金具の中央になるように位置を決めてください。

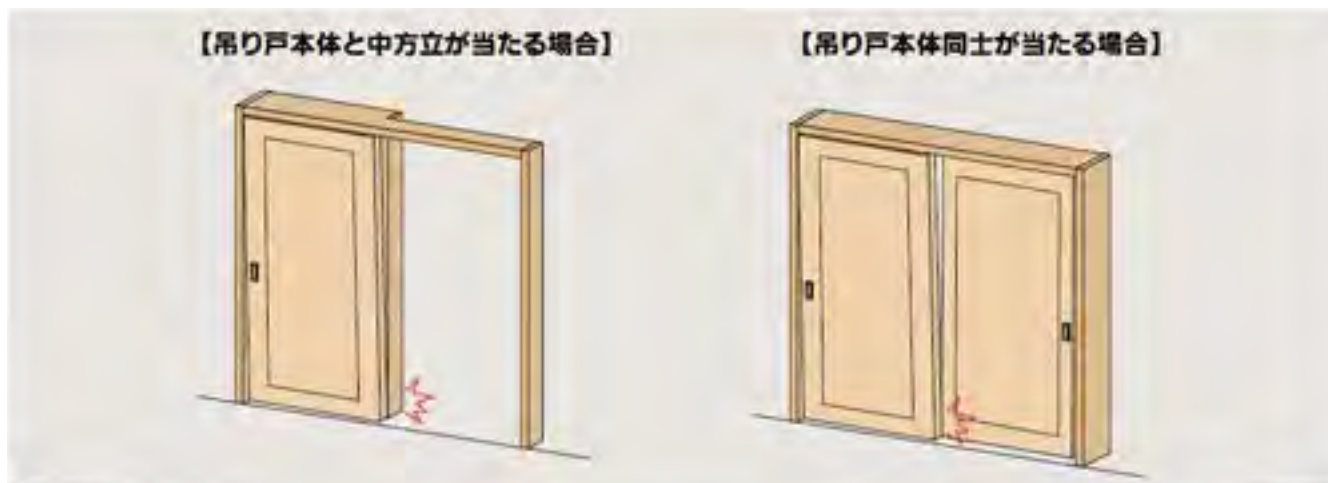


③取り付けビスを締めてください。

Q1

吊り戸本体と中方立が当たる。引き違い吊り戸の本体同士が当たる

- A. ① 吊り車の左右調整を行ってください
② 中方立の調整を行ってください

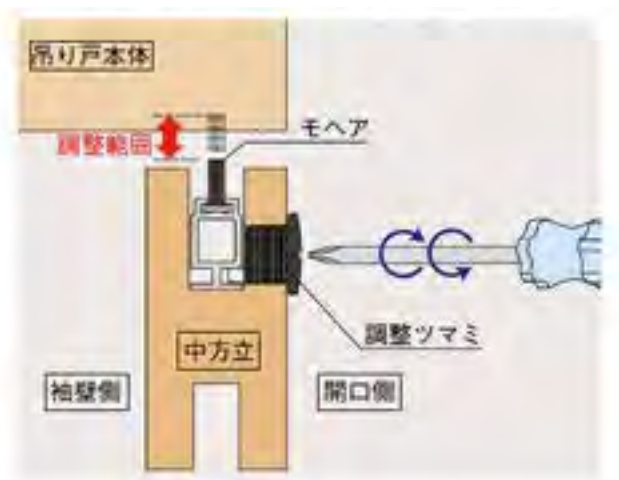


① 吊り車の左右調整

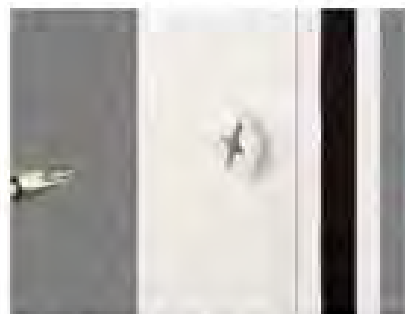


左右調整ビスを右に回すと本体が右に移動し、左に回すと本体が左に移動します。
上下調整ビスを右に回すと上がり、左に回すと下がります。

② 中方立の出寸法調整



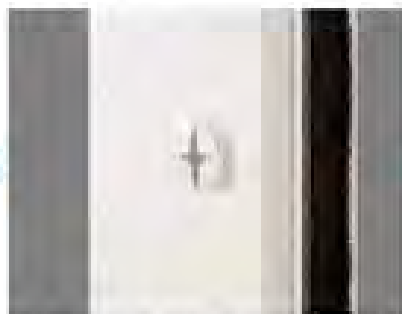
調整ツマミが 3,4 か所ございますので、各ビスを回して調整してください。



モヘアで寸法は初期設定で 3.5mm です。



▲マークが調整部材と反対の位置



調整ツマミを半回転すると、出寸法が 11mm (最大) になります。



▲マークを半回転



さらに半回転すると、元の 3.5mm に戻ります。

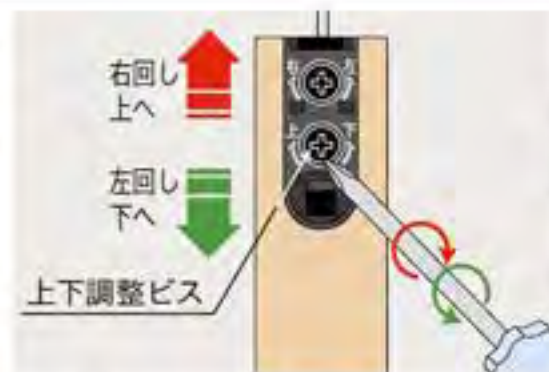
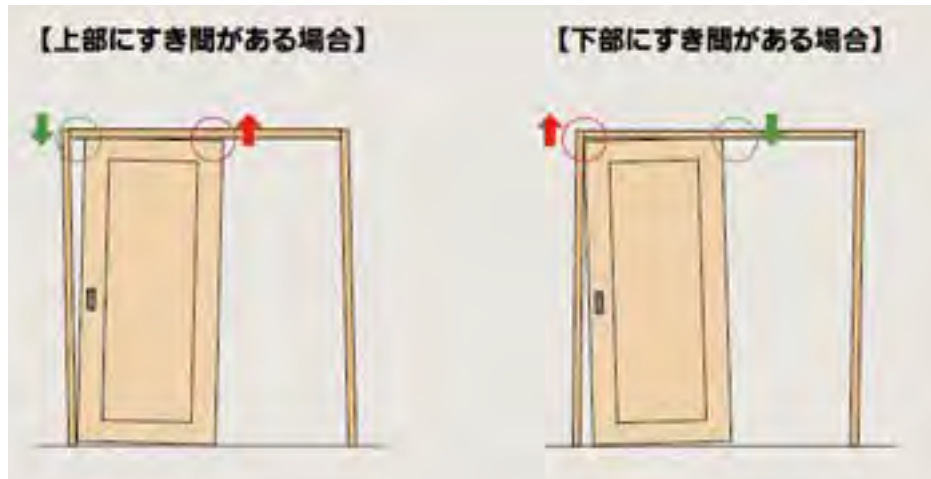


再び▲マーク半回転 (元の位置)

Q2

吊り戸がぴたりと閉まらない

A. 戸先と枠の間にすき間ができていますので、吊り車の上下調整を行ってください



調整範囲(出荷基準位置より)
下に5mm

※納入時には下方向にしか調整
できません。
また、一度下に調整し、再び上に
調整する場合は、吊り戸の荷重に
より多少調整ビスが回しにくくな
ることがあります。

上下調整ビスを回し、引き戸本体を上下に調整し
ます。

四方枠・三方枠(下レールあり)



吊り車



上ストッパー



下ストッパー
(四方枠)



下ストッパー
(三方枠)



ファインモーション
機構(ダンパー)
※三方枠(下レールあり)のみ

三方枠(下レールなし)



上用軸受け



下用軸受け



振れ止め金具
0.75間・1.0間
〈扉2セット〉用



振れ止め金具
0.5間〈扉1セット〉用
※0.5間の場合は扉と枠側に
金具が付きます。

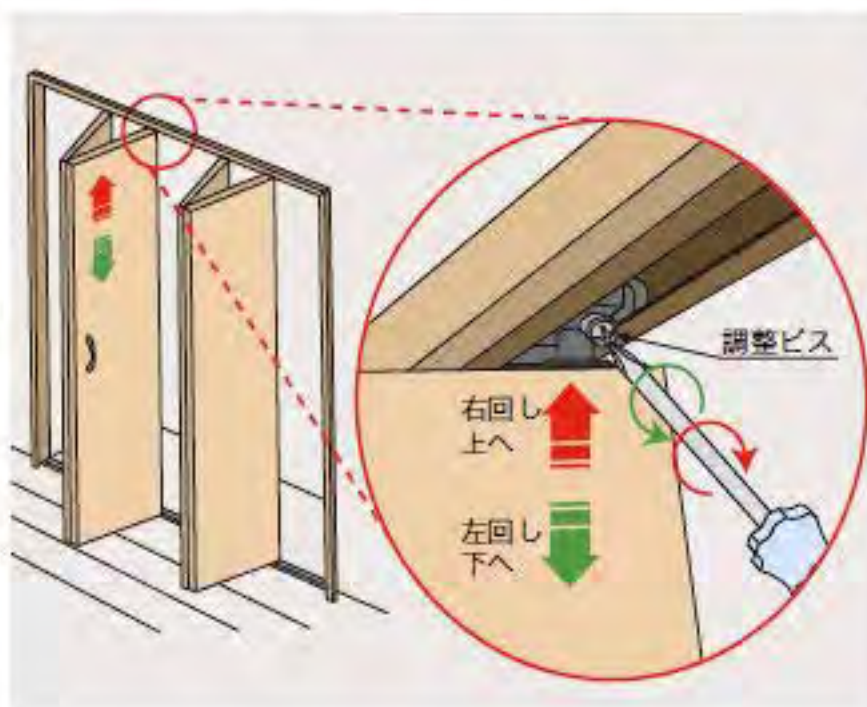
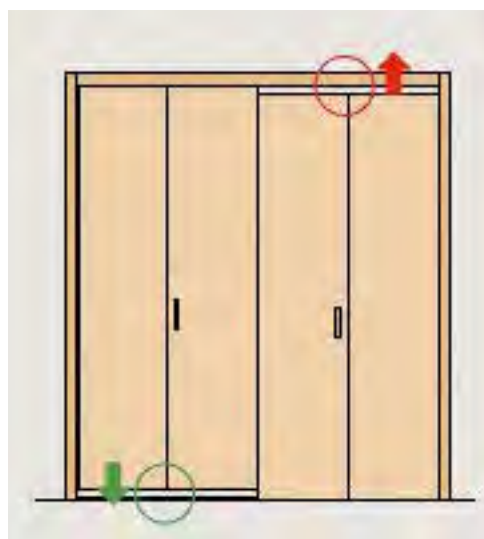
Q1

扉の上下と枠のすき間が一定にならない。扉と扉のすき間、
扉と縦枠とのすき間が一定にならない

A. 扉が傾いている可能性があります

折れ戸 1 セットにつき 2 ヶ所ある吊り車の調整を行ってください

※ 四方枠、三方枠（下レールあり）の場合



扉を折った状態で、吊り車の調整
ビスを回し、扉を上下に調整します。

調整範囲(出荷基準位置より)

右回し：上に3mm

左回し：下に3mm

お願い

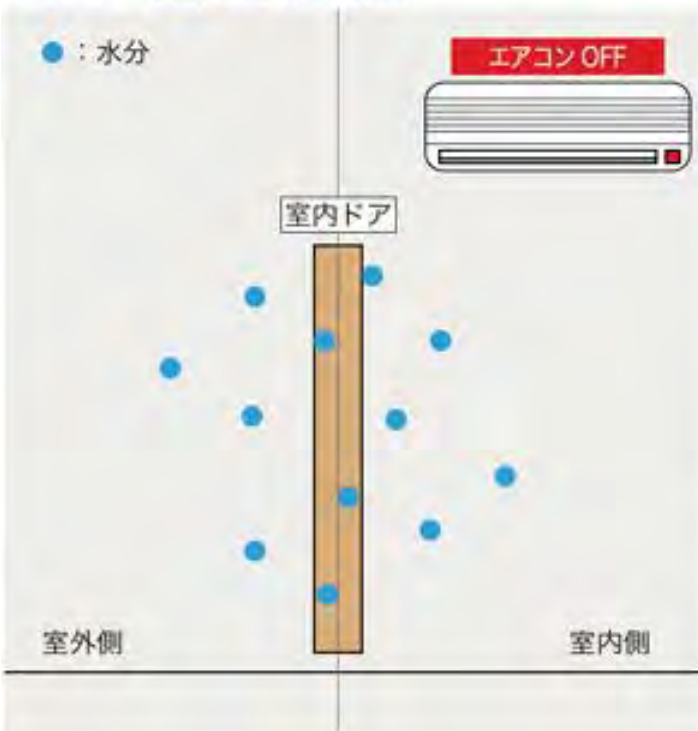
手回しドライバーが扉上
木口に当たらないように
してください。扉上木口
をキズつける恐れがあり
ます。

EIDAI 木材の性質についてご理解いただきたいこと

木質製品は、空気中の水分を吸収・放出して伸縮する特性を持っています。
これは温度、湿度等の環境条件が変化することにより起こる自然現象といえます。
室内側と室外側で環境条件が大きく異なる場合、空気中の水分が室外側に移動するため伸縮が起こり、「反り」が発生することがございます。

「反り」発生メカニズム

◆ ドアをはさんで室内側と室外側の環境条件が均一で反りにくい状態



◆ 夏の暑い日になりやすい室内・外の環境条件
空気中の水分が移動し、ドアが反っている状態



同じ木であってもまったく同じ木目、色調となることはありません。
柾目・板目の違い、塗料の吸い込み量によっても色の違いが出る場合がございます。
また、小さな節や入り皮、木目の曲がりや逆目なども、そのまま生かして使用しています。



色のバラツキ CB色



節 ※木口面に節が入っている場合は節の断面が線状に見えることがあります。



入り皮



特長のある木目

DAIKEN 床 使用上の注意

傷つきへの配慮

テーブルやイスなどをひきずると、フロア表面の傷、凹みの原因になります。

椅子やテーブルなどの家具が床と接する面にフェルトや柔らかいゴムキャップなどをつけてください。傷を防ぐだけでなく、防音上も効果的です。

ただし、ゴムキャップの素材によっては、床面に跡が付いたり、変色等を起こすものがありますので、ご注意ください。また、むやみにひきずらないように気をつけましょう。フェルト等についた異物を定期的に取り除くようにしてください。

ピアノ等の重量物を置く場所には、重量を分散させるために脚部の床の上に板や、専用のインシュレーターを必ず置き、移動する場合には必ず持ち上げて移動させてください。

※ピアノや大きな書棚などの重量物を置く場合は、床構造上強度が必要です。施工店に事前に確認してください。

弊社床材はすべて一般的なスリッパや靴下履きでの歩行を想定した設計となっています。

滑り止め加工付きスリッパは床面との摩擦により床面が磨耗され、傷や艶引けが生じますので使用しないでください。

鏡面調化粧のフロア「ハピアフロア石目柄（鏡面調仕上）、ハピアフロア銘木柄（鏡面調仕上）、エクオスマラー」は艶が高い塗装仕上げのため、生活上の傷などが目立ちやすくなる場合があります。

カーペットや玄関マットのズレ防止に粘着テープを使用しないでください。

はがす時にフロア表面が変色、変質、剥がれなどの恐れがあります。

カーペットやマットを長期間床の上に敷きっ放しにした場合、床面が変色したり、表面にゴムマットの跡が付いたり、表面に細かい傷が発生し艶引けが発生する場合があります。



キャスターは床面が損傷するため使用しないでください。

使用する場合はカーペットを部分敷きにするなど必ず床面を保護してください。



表面コート剤（フロアコーティング）は、はがれ、膨れ、白化、粉吹き、変色、床鳴り、ひび割れ等の不具合を発生する恐れがありますので、使用しないでください。

DKワックスネオをご使用ください。

掃除機（ロボット・サイクロン方式など）の注意《要注意！》

砂ボコリや小さな固形物が床表面にあると、ロボット掃除機のローラーや底部に付着し、それを引きずって床材表面のツヤが落ちたり、傷の原因になる場合があります。また、湿式タイプのロボット掃除機は床の繋ぎ目から水が浸入し、変色、捲れなどの不具合の原因になる場合があるため、使用しないでください。

シミ、変色、ひび割れへの配慮

窓際は紫外線の影響により床面が変色します。直射日光が長時間当たりやすい場所は、カーテンやブラインドで直射日光をできるだけ遮るようにしてください。

特に突き板仕様の化粧面は経年により変色（退色）が進行するため、カーペット等を使用した場合、カーペットを使用した部分と使用しなかった部分との色差が生じます。

台所や洗面所周辺など、常時水が飛び散る恐れのある場所では、水濡れおよび転倒防止、床面の汚れ防止のためマットを敷いて表面を保護してください。

火のついたタバコや高温のアイロン、やかん、鍋等を直接置いた場合に発生する焦げ跡は一度つくると取れません。また、表面化粧材が熱により一度変色や変形すると元にはもどりません。

タバコのヤニはアルコールを染み込ませた布で拭き取ってください。それでも取れない場合は、施工された業者や補修業者に相談ください。

シンナーやベンジン、漂白剤などをご使用の場合は、適切な希釈が必要になります。適切な希釈を行わないで薬品を使うと、床表面の変色、変質の可能性があります。これらの薬品をご使用の場合は、補修業者などによくご相談ください。

床面是水濡れにより膨れ・変色が発生するため、鉢には必ず水受け用の皿などを敷いて床面を保護してください。また、紫外線の影響により床面は変色しますので、時々置く場所を移動させてください。

暖房器具などの熱風や反射式ストーブの熱により、床面にクラック（ひび割れ）が生じたり、継ぎ目にすき間ができるおそれがありますので、使用しないか、熱が直接床にあたらない配慮をお願いします。

※床表面に断熱性のあるシートなどを敷くことをおすすめします

敷物《要注意！》

クッション性のある EVA 樹脂製や一般の敷物で、床面を変色させる恐れのあるものがあります。

敷物の注意書きの確認や敷物の下を確認するなど注意してください。ときどき敷物を移動させて空拭きしたり、汚れがある場合は、中性洗剤や中性の床クリーナーで拭いてください。

トイレ

- ・床にこぼれたお小水や結露水を拭かずにそのまま放置しておくと、便器と床材のすき間や継ぎ目に入り込み、アンモニアによる黒シミが生じます。速やかに拭き取ってください。
- ・トイレ用洗剤（酸性・アルカリ性）が床に付着すると黒く変色することがあるため、速やかに拭き取ってください。
- ・トイレの足元はすりキズが付きやすくなりますので、マットを敷いて保護することをお勧めします。



床面を長時間濡れたまま放置すると、変色・シミ・ひび割れ、基材の膨れ、単板の剥離等の原因となります。また、床面が濡れていると滑りやすく、転倒の恐れがあり危険です。

速やかに乾いたタオル等で拭き取ってください。

窓やテラス側からの雨水の吹き込み、サッシなどの結露による水滴などにもご注意ください。

その① 日常のお掃除

乾いた雑巾でカラ拭きをしてください。

水拭きをする場合は、固く絞った雑巾で拭いた後、必ずカラ拭きをして水分を拭き取ってください。
濡れ雑巾を頻繁に使用したり、水分が床に残っていると、床と床の隙間から水が浸入し、床表面にシミやヒビ割れが生じることがあります。

その② ひどい汚れがついたとき

カラ拭きでゴミやホコリを取り除いたあと、固く絞った雑巾か、中性洗剤や中性の床クリーナーを含ませた雑巾で汚れを拭き取ってください。

汚れがひどい場合は、アルコール（エタノール）を含ませた雑巾やタオルで拭いてください。

ただし、ぬれ雑巾を頻繁に使用すると床表面にシミやヒビ割れが生じることがありますのでご注意ください。

シンナーやベンジン、漂白剤などをご使用の場合は、適切な希釈が必要になります。

適切な希釈を行わないで薬品を使うと、床表面の変色、変質の可能性があります。これらの薬品をご使用の場合は、補修業者やクリーニング業者などにご相談ください。

また、強アルカリ性のクリーナーは変色する場合がありますので使用しないでください。

その③ ペットを飼うときの注意

ペットの歩行に優しい製品もご用意しています。

（全ての犬・猫の滑りに対応可能ではありません。）

ペットの爪で表面に引っかき傷が発生したり、排泄物で変色する場合があるため、ご注意ください。排泄物はすぐに拭き取ってください。

軽微な傷は弊社補修セットVI (P.4) をご使用ください。傷などからフロアーを保護するためにマットなどを敷いてください。

基材の合板が見えるような深い傷は張り替える必要があります。工務店様にご相談ください。



その④ 掃除機（ロボット・サイクロン方式等）使用の注意

ロボット掃除機は砂ボコリや小さな固形物が床表面にあると、ロボット掃除機のローラーや底部に付着し、それを引きずって床材表面のツヤが落ちたり、傷の原因になる場合があります。また、湿式タイプのロボット掃除機は床の繋ぎ目から水が浸入し、変色、捲れなどの不具合の原因になる場合があるため使用しないでください。

その⑤ 水廻りでの注意

* キッチン・洗面所

水が飛び散るおそれのある場所では、水濡れおよび転倒防止、床面の汚れ艶引け防止のためマットを敷いて表面を保護してください。

* 観葉植物

水濡れにより膨れや変色が発生するため、鉢には必ず、水受け用の皿などを敷いて床面を保護してください。

また紫外線の影響により床面は変色しますので、時々置く場所を移動させてください。

* トイレ

●床にこぼれた小水や結露水をそのまま放置しておくと
便器と床材のすき間や継ぎ目に入り込み、アンモニアによる黒シミが生じます。

速やかに拭き取ってください。

●トイレ用洗剤（酸性・アルカリ性）が床に付着すると黒く変色することがあるため、速やかに拭き取ってください。

●トイレの足元はすりキズが付きやすいので、マットを敷いて保護することをお勧めします。



床暖房使用上の注意

表面への釘などを打ち込まない

床面から釘などを打ち込まないでください。

温水パイプが破損したり、電気がショートして水濡れや火災発生の恐れがございます。

衣類の乾燥に使用しない

直接床暖房の上にのせて、衣類の乾燥等、暖房以外の目的で使用しないでください。

暖房面に家具やピアノを置かない

暖房面の上に、家具や調度品を置かないでください。熱でひずみや狂いが生じる場合があります。特に重量物は、暖房設備の破損や水漏れの恐れがあります。

またピアノは音が狂う場合もございます。

暖房面の上にカーペットを敷かない

暖房した床面にカーペットを敷かないでください。

こもった熱で床面が傷み、ひび割れ・変色が生じることがあります。

※ハピアフロア石目柄（鏡面仕上げ）は、床暖房使用中はカーペットを敷かないでください



低温やけど

床暖房中に長時間接していると、低温やけどが発生する恐れがございます。

お子様や体の不自由な方には、周囲の方が十分に注意してあげてください。

木質フローアー

床鳴り

木材の調湿効果により伸び縮みを生じますので、ある程度は止むを得ない現象です。

商品の性能、使用上は特に問題ありません。

水をこぼして長時間放置した場合や、水気の多いお手入れをされた場合などでも起こります。

また、ワックスや表面コート剤の塗布、下地条件などでも発生する場合がございます。

虫食い

一般にフローアーは、高温高圧工程を経て製造されるため、製造段階での虫害はありません。

しかし木材の特性上、製品の流通段階や施工後に何らかの理由で虫害が発生することがございます。

万一発生した場合は早期対策が必要です。処理専門業者等にご相談ください。

色や木目のバラツキ

自然素材である天然木の化粧単板や無垢材は、同じ樹種でも一本一本個性があります。

木目・色調が異なるのはもちろん、成長過程で生じる節や入り皮なども木材ならではの個性です。（シート化粧フローアー除く）

引違い窓



引違い窓（テラスタイプ）



片上げ下げ窓



シャッター付引き違い窓



FIX 窓（はめ殺し）



高所用滑り出し窓



縦滑り出し窓



滑り出し窓



内倒し窓



フロア納まり片引き戸



開き窓テラス



勝手口ドア（通風仕様）

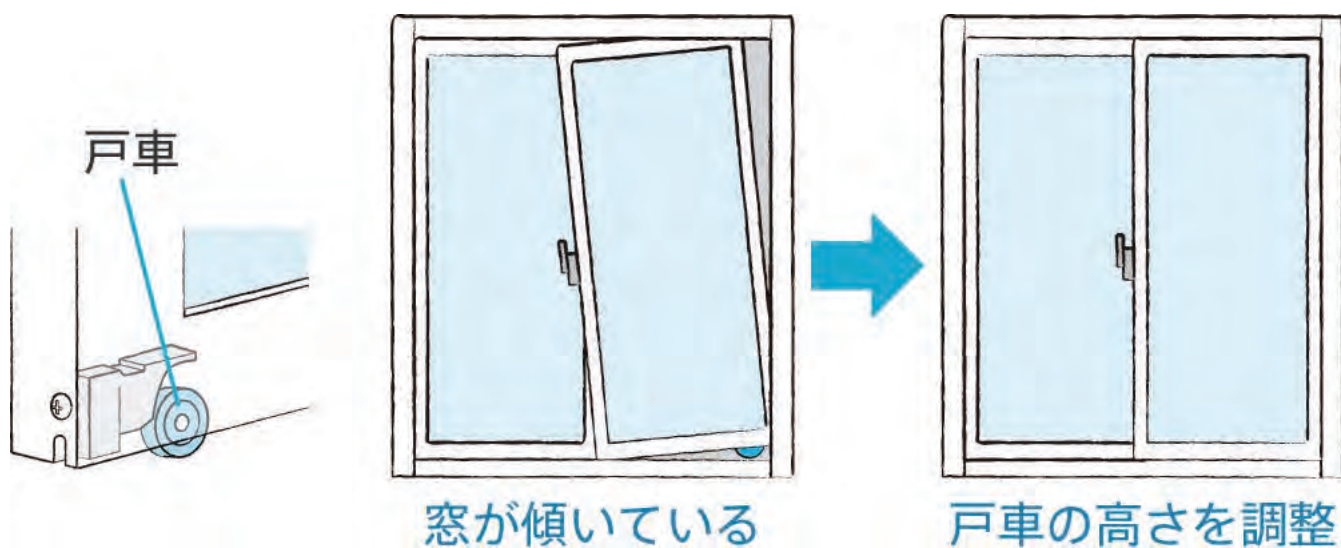


※ 調整時、ネジは絶対にはずさないでください。
窓内部の部品がはずれ元に戻せなくなるおそれがございます。

Q1

建て付け調整方法を知りたい

A. 窓の傾きは戸車で調整を行ってください
すき間をふさぐ下部摺動片も確認ください



すき間をふさぎすぎると、窓が動かしにくくなり、すき間を空けすぎると気密性が悪くなります

下部摺動片

戸車調整

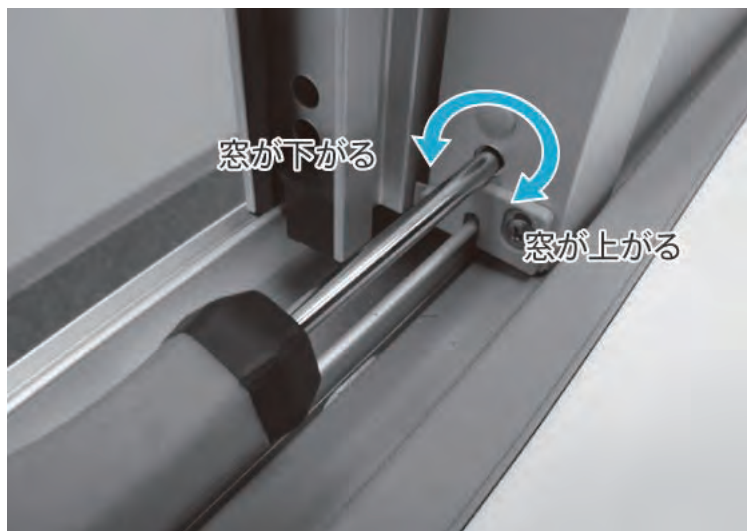
戸車調整ネジ用
穴ふさぎキャップ



調整ネジには、穴をふさぐためのキャップ
がついている製品もございます。
キャップを外して調整ください



調整ネジ



プラスドライバーをネジ穴に差し込み
調整ネジを回して戸車を調整します

- ・窓を上げたい場合…右に回す
- ・窓を下げたい場合…左に回す

下部摺動片（かぶしゅうどうへん）調整

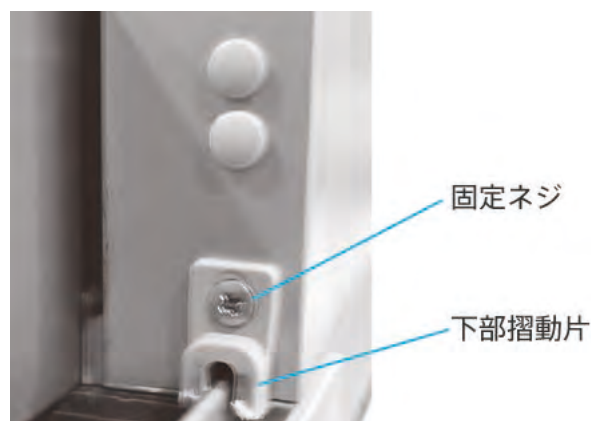


1. 固定ネジを左回りに回して緩めます



2. レール上の風止板とのすき間がなくなるように、下部摺動片の位置を調整してください
調整が終わりましたら、固定ネジを時計回りに回して、締めます

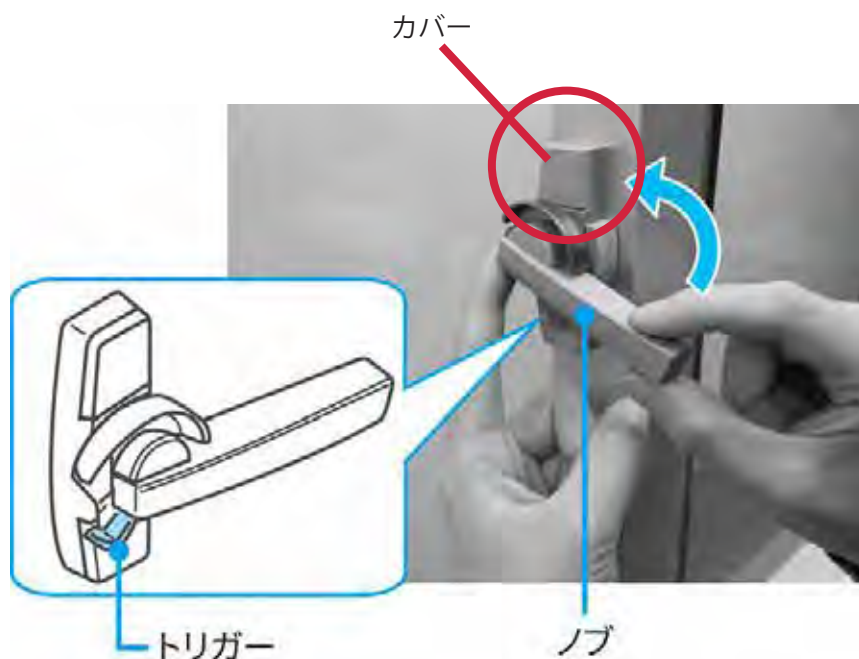
右図はテラスタイプです
テラスタイプはネジの位置が異なります



Q2

クレセント（鍵）がかからない・ガタつく

A. クレセントの位置がずれている可能性が
ございます
調整を行ってください



1. トリガーを指で押さえながらクレセントのノブを中央位置まで回し、カバーを外します



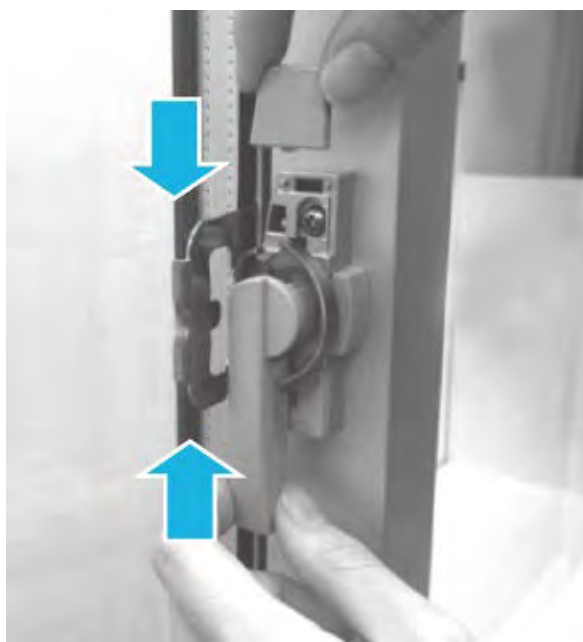
2. 上下のネジを反時計回り（左廻り）に回してゆるめます



3. クレセントを上下に動かして、クレセントの位置を調整してください



4. 調整が終わったら、上下のネジを時計回り（右回り）にまわして締めてください



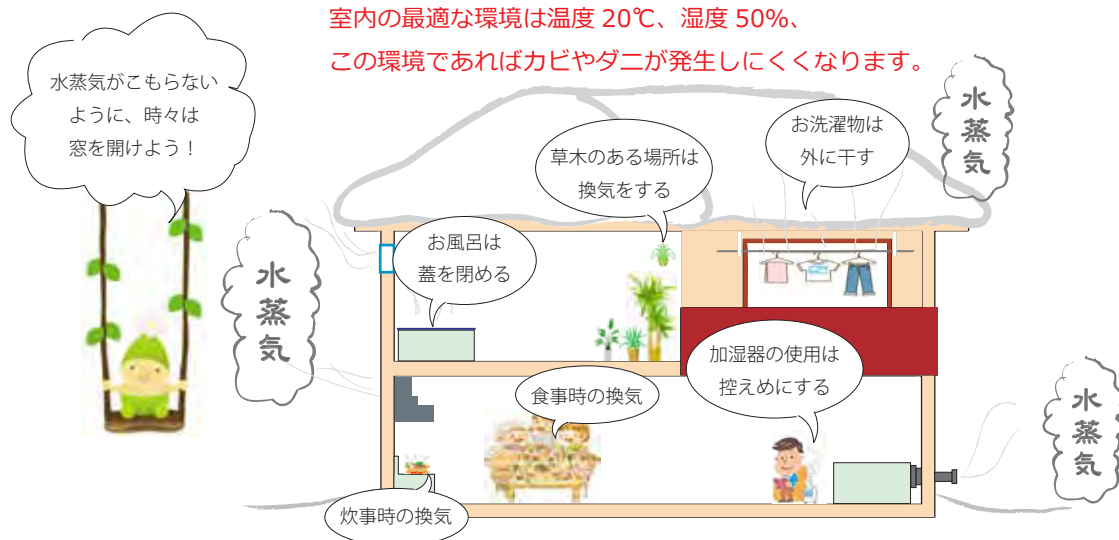
5. 最後に、外したカバーも忘れずに取付けます

Q1

結露で窓ガラスに水が付く

A. 日常生活で結露現象はよく見られます。

夏に冷えたビールをグラスに注ぐとグラスの表面がぬれた経験はございませんか？
これが結露です。家に当てはめて考えると、空気が一番冷やされる場所…窓や空気だまりになるタンスの後ろや部屋の隅で結露現象を多く見ることができます。
結露は自然現象ですので、どんなサッシでも発生します。

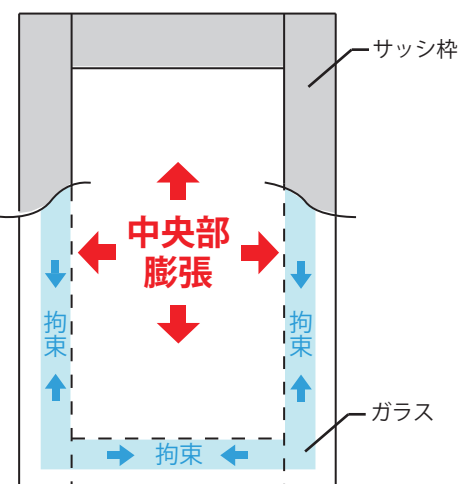


Q2

自然とガラスにヒビが入った / 割れた

A. 窓にはめ込まれたガラスは、太陽があたることにより割れることがあります。

「熱割れ」は、窓ガラスに直射光を受けると、照射された部分は吸熱のため高温となり膨張します。一方、サッシにのみ込まれた部分や、影の部分はあまり温度上昇せず低温のままとなるので、結果ガラス周辺部に引張応力が発生します。この現象はガラスの特性として不可抗力的に発生します。



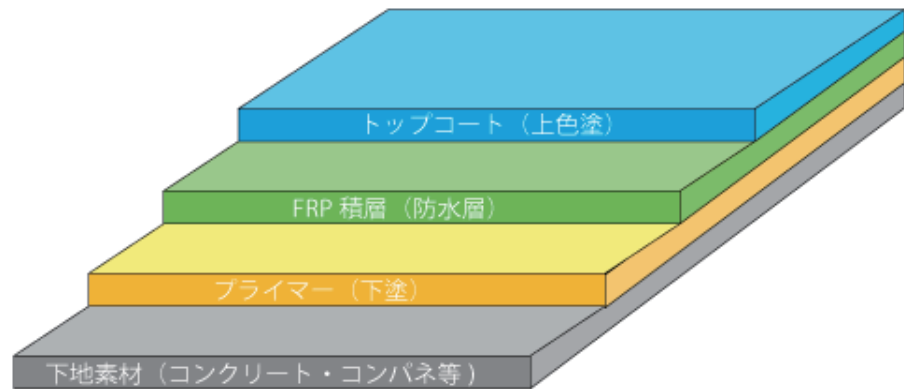
【防止策】

- ・室内側に熱だまりができガラスが高温となるような部位をつくらない
- ・冷暖房の吹き出し空気や熱を、直接ガラスに当てたり強い照明をあてない
- ・ガラス面に紙やフィルムを貼らない ※ 日射吸収率が極端に大きくなります
- ・室内側にカーテンやブラインド、その他の遮蔽物を密着させない

バルコニー床防水の種類

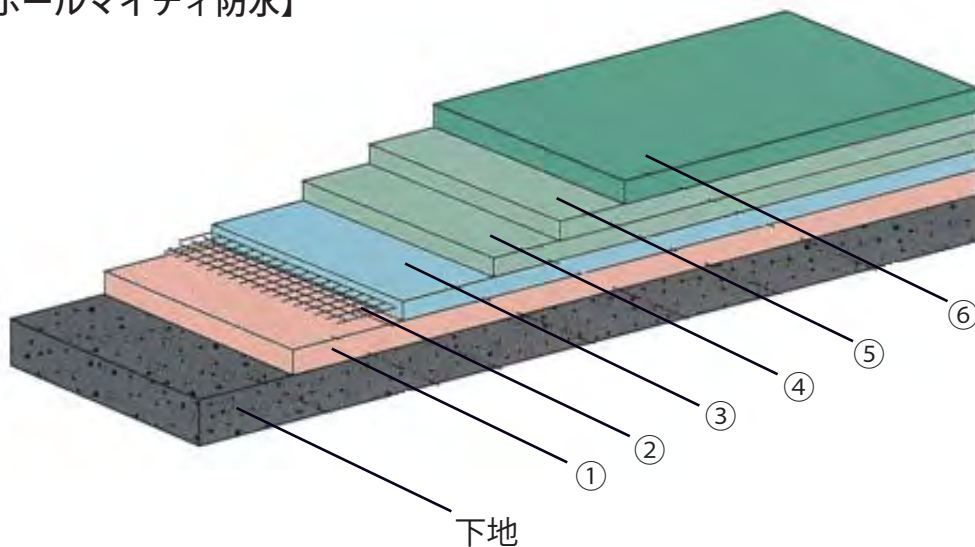
床 防 水 の 種 類

【FRP 防水】



- ① 下地素材 ② プライマー塗装 ③ 防水材
④ トップコート

【リボールマイティ防水】



- ① プライマー塗装 ② クロス貼り ③ 防水材
④ 保護防水材 1 回目 ⑤ 保護防水材 2 回目 ⑥ トップコート

お手入れ

バルコニーは常に風にさらされているため、破損や腐食などを受けやすい場所です。頻繁にお掃除をして、ほこりをためないように心がけてください。ほこり・土・葉っぱなどを放置しますと、防水層劣化の原因となりますので、ご注意ください。排水溝のごみはこまめに掃除することが大切です。排水溝がつまると、大雨の時に排水が間に合わずプール状態になり、あふれた水が室内に侵入してしまう恐れがあります。

ベランダの床には、雨や風で飛ばされたり野鳥が運んできたりする小さなゴミや砂、植木の枯葉等がたまります。最低でも月に1度、また、風の強い時期や雨の多い時期等は、こまめに床のゴミを取りのぞきましょう。小さなゴミを放っておいたり、集めたチリを排水口に流すと、詰まりの原因になります。床のチリは排水口には流さず、ゴミ箱へ。

バルコニー、ベランダの壁は、台所用洗剤を薄めた液で汚れを落とします。

取り扱いについて

- ・ 塗膜が傷つきますので、デッキブラシ等は使わないようにしましょう
- ・ 硬いもの、鋭利なものを置くと、角等が当たって、防水層を傷つけることがあります
何かものを置く場合は、必ずゴムマット等を下に敷いてください
- ・ 椅子や物干しなどの足を、引き摺らないでください
- ・ 水洗いの時には、大量の水をまくことにより
 - ① 下の階に水が漏れる
 - ② 水が飛び散ってご近所の洗濯物を汚してしまう等、様々なトラブルにつながる恐れがありますバケツ一杯程度の水を、静かに流しながら洗う程度にしましょう

照明カバーの取り外し・取り付け方

簡単引掛けバネタイプ

取
外
し



カバーを手前に引く



カバーを上を持ち上げる

取
付
け



カバーを本体上部に
引っ掛ける



カバーを本体に押し付ける

ネジ込みタイプ

取
外
し



カバーを両手で支え
左へ回す



カバーを本体から外す

取
付
け



カバーをネジ切り溝に
合わせる



カバーを両手で支え
右に回して固定する

つまみネジ（カバー内）タイプ

取
外
し



電球を左回しで外す



カバーを支えながら
つまみネジを外す



カバーを本体から
真っすぐ引き抜く

取
付
け



カバーを本体にセット
する



カバーを支えながら
つまみネジを取付ける



電球をねじ込む

表ネジタイプ

取
外
し



カバーを支えながら、枠廻りの
ネジをゆるめる



取
付
け



カバーと本体のネジ穴を
合わせる



枠廻りのネジを締める

照明器具の注意事項

使用環境・使用条件

照明器具は周囲温度が 5 ～ 35℃ の範囲でのご使用をおすすめします。

蛍光灯の場合、低温での使用は暗くなったり、点灯しない場合があります、また点灯直後に、ちらつきが発生する原因になります。

高温での使用は器具が過熱したり、短寿命や明るさ低下の原因になります。

器具には屋内用器具、湿気・水気のあるところに使用できる器具および屋外用器具があります。

定格電圧と電源電圧は、器具を取付ける前に必ず確認してください。間違って器具に過電圧を加えた場合、ランプ、安定器等の寿命が短くなったり、過熱による火災の原因になります。

断熱施工をされる場合は、必ず各施工方法に対応した断熱施工対応型の器具をご使用ください。断熱施工対応型以外の器具を使用された場合、火災の原因になります。

蛍光灯器具には電源周波数 50 ヘルツ (H z)、60 ヘルツ (H z) 用の区別があるものがあります。東日本は 50Hz です。

設備・施工

一般の方の工事は禁止されています。

器具の取り付けは、指定箇所および重量に耐えられる場所に施工ください。

指定以外の方法で器具同士を密着させたり、器具と照射面の距離が指定より近すぎると、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因になります。

アース工事は電気設備の技術基準に従い確実にこなってください。

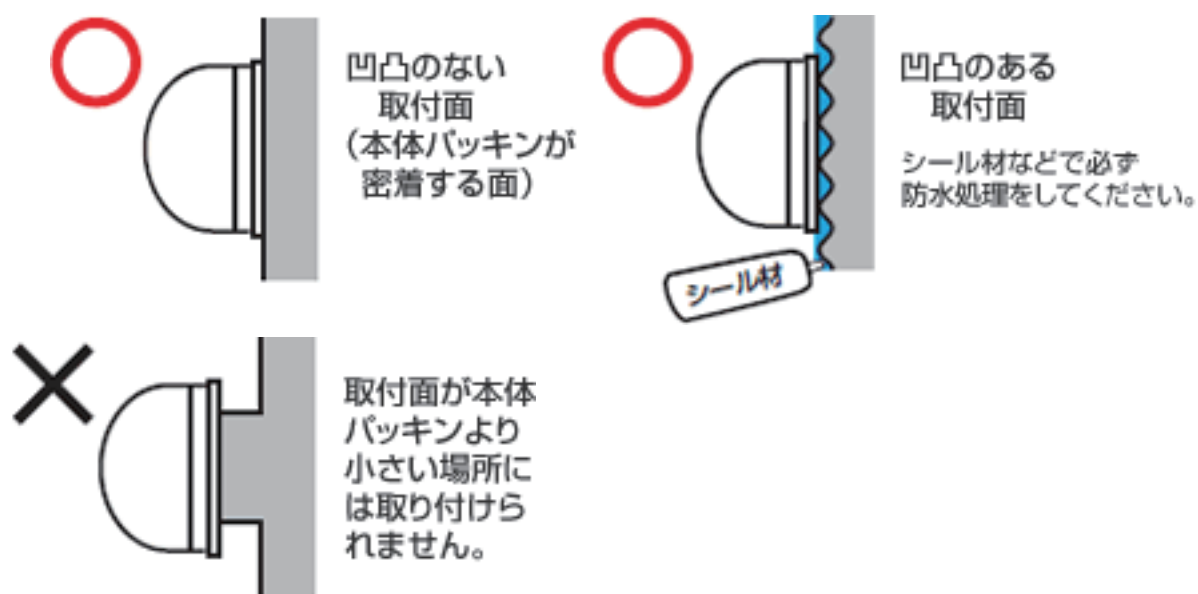
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

傾斜天井においては、傾斜天井対応型器具、傾斜天井取付可能型器具をご使用ください。

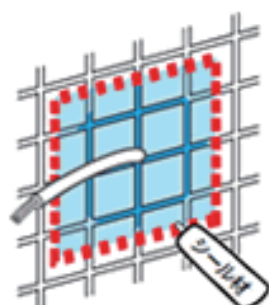
工事なしの器具については、一般の方も取付けできますが、必ず「取扱説明書」に従って取付けをおこなってください。不備があると器具落下などの原因になります。

屋外用器具は、防水処理をおこなってください。防水不備があると、感電、火災の原因になります。防雨・防湿型器具は、取付場所、取付面などにご注意ください。

◆ 防水器具は本体パッキンが密着する平らな面に取付けてください



① 凹凸面の防水処理をおこなってください。



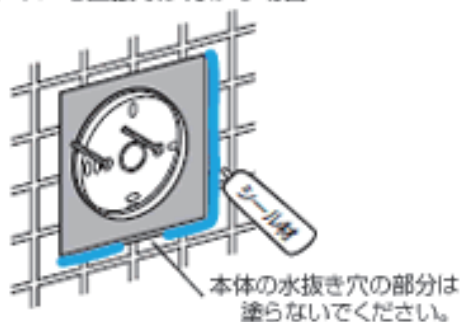
取付面全体に防水シール材を塗り設置面を平らにしてください。

◆ 凹凸のある面に取り付ける場合は、必ず防水シール材で隙間を埋めてください

防水処理が不完全だと、電源穴、取付穴から器具内部に浸水し、感電、火災、器具破損の原因になります

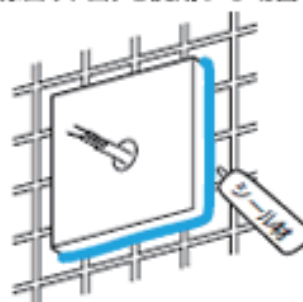
② 次にパッキン・木台周辺の防水処理をおこなってください。

パッキンを直接取り付けの場合



パッキン外周部にもシール材を塗りつけてください。

絶縁台(木台)を使用する場合



木台外周部に防水シール材を塗りつけてください。

使用上の注意

器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。落下、感電、火災等の原因となります。

器具の 30cm 以内にもものを近づけたり、また、周囲のものが倒れかかったりする恐れがある場所には、器具を取り付けないでください。

セード・グローブの取り付けは、「取扱説明書」に従って、確実にこなってください。

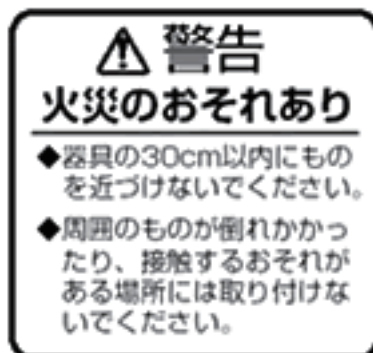
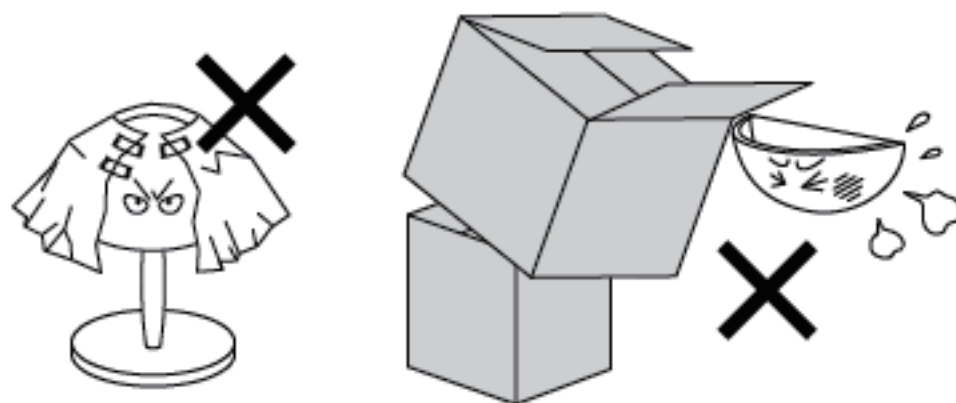
万一煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると火災、感電の原因になります。

すぐに電源スイッチを切り、異常状態がおさまったことを確認してから、工事店、お買上げ電気店へご相談ください。

LED を長時間直視するのはやめてください。目に悪影響をおよぼす恐れがあります。

LED は音響・映像機器を使用すると、雑音の原因となる場合があります。その場合器具から離して使用してください。

蛍光灯は、安定器の鉄芯の振動で若干のうなり音を発生します。また、プラスチック・アクリルカバーを使用した器具では、点灯・消灯後に音がする場合がありますが、器具の異常ではありません。



ランプ交換について

点灯中および消灯直後は、ランプおよび器具が高温となっておりますので、手を触れないでください。火傷の原因になります。

ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

必ず本体表示通りの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。間違った種類・ワット(W)数のランプを使用すると、過熱により火傷や器具が変形、変色したり火災の原因になります。

照明器具の寿命

設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。

点灯時間が増えると、照明器具の部品は熱の影響により劣化し、安全面での問題が起きやすくなるだけでなく、エネルギー消費効率も低下します。

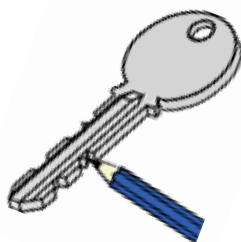
安全・省エネのためにも、定期的な点検をおすすめします。

点検をせずに長時間使い続けると、まれに発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。

器具に異常がない場合でも、設置から8～10年での交換をおすすめします。

Q1 カギの抜き差しがスムーズにできなくなった

A1. カギの切込み部を鉛筆の芯でなぞるように塗り、その後カギ穴に挿入して
数回抜き差ししてください
動きがスムーズになります



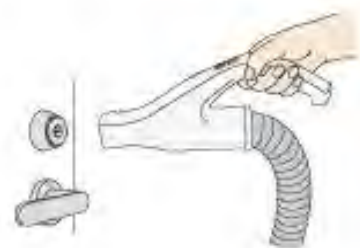
一度でスムーズにならない場合は、同じ方法を繰り返してください。

カギの抜き差しがスムーズになりましたら、カギに付着している粉をふき取ってください。

付着したまま使用されますと、衣類などを汚す可能性があります。

A2. 潤滑油を点してください

- ① カギ穴のほこりを、掃除機で吸い取ってください
- ② 歯ブラシなどで、カギ本体のほこりを取りのぞきます



- ③ カギ穴に潤滑油をさします



メーカー推奨潤滑油

- ◎ 美和ロック (MIWA) 純正 鍵穴専用潤滑剤 スプレー 3069S プロ仕様 12ml
- ◎ LIXIL・トステム 鍵穴スプレー (潤滑剤) (J Nシリンダーを除く) 玄関ドア部品 [DASZ020]



Q2

ドアガードの調整方法を知りたい

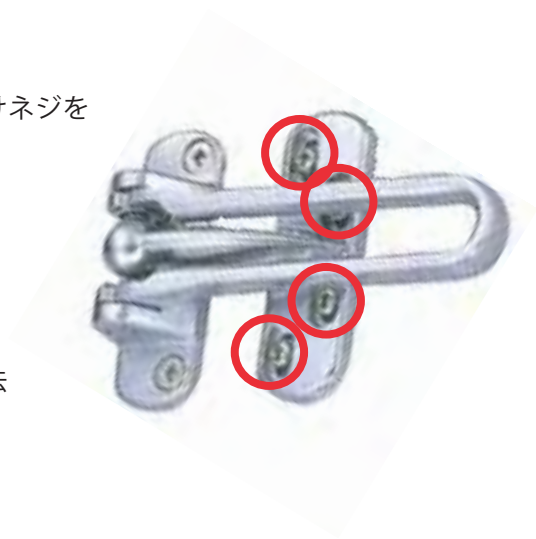
A. 以下の説明に従って調整をお願いします

ドアガードが受けにかからない場合は、受けの取付けネジをゆるめ位置を調整してください。

(本体側のドアガードは調整できません)

ドアガードがスムーズに操作できるか確認してから本固定してください。

受けの形状が異なる場合がございますが、調整の方法は同じです。



困ったときの緊急連絡先

緊急対応が可能な業者

※費用が発生しますので、ご確認のうえご利用ください

水漏れ つまり	生活トラブル救急車	0120-84-9191
給湯器 窓ガラス 水廻り 電気設備	生活かけつけサービス (テプコほっとライン)	0120-609-105
鍵	日本ロック 東京 23 区	0120-204-009
	埼玉	0120-443-783
	千葉	0120-443-785
	カギの救急車 新宿店	0120-698-999
	大宮駅西店	0120-67-9948
	浦和店	0120-73-9948
	船橋店	0120-81-9948
ガラス	ガラス修理屋	050-3627-7832
	みんなのガラス屋さん	0800-123-3148

建物・設備の不具合、ご相談などは下記まで。

吉岡工務店株式会社

住宅事業 工事部 ☎：03-5350-5280

HPからメールでのお問い合わせ

<https://yoshioka-kankyo.jp/>

お問い合わせ

⇒

土地活用・分譲住宅・リフォーム等のご相談

から内容を送信してください。

3営業日以内にはご連絡を差し上げます。

受付時間：平日 9:00-18:00

（祝日，GW，夏季休業，年末年始休業除く）

即日および営業時間外は対応できませんので、ご承諾くださいますようお願い申し上げます。